

A002ZT

取扱説明書

A002ZT 取扱説明書 目次

はじめにお読みください

はじめにお読みください.....	4
------------------	---

ご利用にあたって

各部の名称とはたらき.....	8
USIMカードについて.....	9

Windowsパソコンにセットアップする

Windowsパソコンへの取り付け／取り外し.....	12
Windowsパソコンでのドライバのインストール／アンインストール.....	13
Windowsダイヤルアップで接続する.....	15

Macにセットアップする

Macへの取り付け／取り外し.....	18
Macでのドライバのインストール／アンインストール.....	18

各種機能を設定する（WEB UIを使用する）

WEB UIの概要.....	22
パソコンからのWEB UIの見かた.....	25
通信を接続／切断する.....	29
データ通信量の設定.....	31
モバイルネットワークの設定.....	34
端末設定.....	62
お知らせを確認する.....	100
本機の情報を確認する.....	104
サポートウェブサイトを表示する.....	106

困ったときは／仕様／保証／お問い合わせ先

トラブルシューティング.....	108
仕様.....	109
本製品の比吸収率（SAR）について.....	111
保証とアフターサービス.....	114
お問い合わせ先.....	115

はじめにお読みください

はじめにお読みください.....	4
------------------	---

はじめにお読みください

本製品をお使いになる前に

「クイックスタート」、「お願いとご注意」をご覧ください。正しくお取り扱いください。

ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

記載内容について

基本にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。

その他の表記について

本書では、本製品のことを「本機」と表記しています。

動作環境（対応OS）

本機の動作環境は次のとおりです。

次の環境以外では、動作しない場合があります。また、下記に該当する場合でも、パソコン本体、接続されている周辺機器、使用するアプリなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

- ・パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンの取扱説明書などをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。
- ・ここで記載している動作環境（対応OS）は2020年8月の情報です。

項目	説明
OS	Windows 8.1、Windows 8.1 Pro、Windows 8.1 Enterprise (32bit/64bit) Windows 10 Home、Windows 10 PRO、Windows 10 Enterprise、Windows 10 Education (32bit/64bit) Mac OS X 10.10 ~ 10.15 対応OSは日本語版と英語版です。 ※モデムモードはMac OS非対応です。
メモリ	Windows 8.1 : 1GB以上 (32bit) / 2GB以上 (64bit) Windows 10 : 1GB以上 (32bit) / 2GB以上 (64bit) Mac OS X : 512MB以上 (推奨1GB以上)
ハードディスク	推奨400MB以上 (200MB以上の空き容量が必要) (各OS共通)
インターフェイス	USB2.0
対応ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 8 以降 Firefox 45.0 以降 Safari 6.0 以降 Opera 40.0 以降 Google Chrome 45.0 以降 Microsoft Edge

お買い上げ品の確認

お買い上げ品には次のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足していた場合には、[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

付属品は大切に保管してください。

- ・ A002ZT（本体）
- ・ クイックスタート
- ・ お願いとご注意

ご利用にあたって

- ・ 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- ・ 回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 本機を法人で契約された場合は、管理者による機能制御が可能です。機能制御の内容によっては、本書／取扱説明書に記載の設定や操作が行えない場合があります。
- ・ 本機には、あらかじめ定額プランに対応した接続先が設定されています（初期出荷状態）。該当の接続先は当社ネットワークにて帯域の制御を行う場合があります。
- ・ 本機では、基地局とフェムトセル等の小型基地局間を移動された際に、通信が切断される場合があります。
ネットワーク接続設定を自動接続にして自動的に再接続がされた場合、再接続後のIPアドレスが変更となる場合があります。
ネットワーク接続設定を変更する方法については、「[ネットワーク接続設定を変更する](#)」を参照してください。
- ・ 本機には「通常モード」と、Windows dialup接続用の「モデムモード」があります。モードの切り替えについては、「[端末モード設定ツール](#)」で設定できます。下記のURLからダウンロードしてください。

<https://www.ztedevices.com/jp/?soft=a002zt-tool-download>

- ・ PCプロファイル作成については、企業管理者様に別途ご提供するツールに同梱された「A002ZT 取扱説明書～法人向けツール編～」を参照ください。

知的財産権について

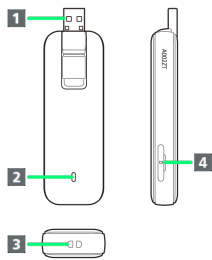
- ・ SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- ・ ZTE、ZTE 中興およびロゴは、ZTE Corporationの中国およびその他の国における商標または登録商標です。Copyright © 2020 ZTE Corporation. All rights reserved.
- ・ Microsoft®、Windows®、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- ・ Apple、Apple のロゴ、Mac、Macintosh、Safari は、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ TM and © 2020 Apple Inc. All rights reserved.
- ・ Google、Google Chromeは、Google LLCの商標です。
- ・ Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ OperaはOpera Software ASA の商標または登録商標です。Operaに関する詳細については、<http://www.opera.com/ja/>をご覧ください。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

ご利用にあたって

各部の名称とはたらき.....	8
USIMカードについて.....	9

各部の名称とはたらき

本体について



名称	説明
1 USBコネクタ	パソコンのUSBポートに接続します。
2 LEDステータスランプ	本機の状態をランプの色および点灯パターンで知らせます。
3 ストラップホルダ	ストラップなどを取り付けます。
4 USIMカードスロット	USIMカードを取り付けます。

USBコネクタについて

USBコネクタは図のように起こしたり倒したりできます。



⚠ USBコネクタ利用時の注意事項

無理な方向や角度にして利用しないでください。

LEDステータスランプについて

通信状態や異常状態などの情報をLEDの点灯や点滅によってお知らせします。

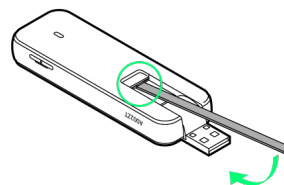
LED色および状態	通信状態
赤点灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起動中 ・ ネットワーク検索中 ・ ネットワーク登録中 ・ 圏外
赤点滅（等間隔で速く点滅）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 70℃以上の過熱状態
赤点滅（等間隔で点滅）	<ul style="list-style-type: none"> ・ PINコード入力待ち ・ PUKコード入力待ち ・ USIMカードが完全ロック状態 ・ USIMカードが異常
青点灯	4G / LTE通信中
青点滅（等間隔で速く点滅）	4G / LTE通信中で60℃以上の過熱状態
青点滅（等間隔で点滅）	4G / LTE待機状態（通信中以外の状態で、かつ圏内）
緑点灯	GSM / 3G通信中
緑点滅（等間隔で速く点滅）	GSM / 3G通信中で60℃以上の過熱状態
緑点滅（等間隔で点滅）	GSM / 3G待機状態（通信中以外の状態で、かつ圏内）
三色（赤・緑・青）点滅	ソフトウェア更新中

背面カバーを取り外す

背面カバーを取り外すことで、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを示す技適マークを確認できます。

1

USBコネクタを起こし、カバー取り外し用くぼみ（○部）に、先が平らな棒（プラスチック製のピンセット等、非金属のもの）を差し込み、図の示す方向へ押し下げてカバーを開きます。



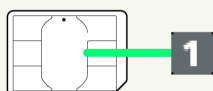
背面カバーが外れます。

USIMカードについて

USIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。

💡 USIMカードのお取り扱い

USIMカードのお取り扱いにあたり下記事項をご確認ください。



1 IC部分

USIMカードのお取り扱いについては、下記のソフトバンクのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.softbank.jp/mobile/support/protect/usim/>

- ・ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・ お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- ・ USIMカードにラベルなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。

! USIMカードご利用時の注意事項

USIMカード利用時は、次の点にご注意ください。

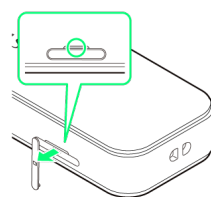
- ・ 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- ・ USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- ・ 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- ・ 解約などの際は、当社にご返却ください。
- ・ お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- ・ USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- ・ お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、控えをとっておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ USIMカードや本機（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。
- ・ USIMカードの取り付け／取り外しは、必ずパソコンから取り外した状態で行ってください。使用中にUSIMカードを取り外すと本機が正常に動作しなくなります。
- ・ 本機は専用USIMカードが必要です。本機の専用USIMカードは携帯電話機で使用できません。

USIMカードを取り付ける

必ずパソコンから取り外した状態で行ってください。

1

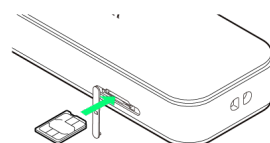
USIMカードスロットカバーを開く



- ・ カバー上部のくぼみに指（爪）をかけ、図の示す方向に引きまします。

2

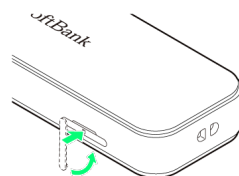
USIMカードをUSIMカードスロットに差し込む



- ・ USIMカードの向き（切り欠き部分／IC（金属）部分を上）に注意して、カチッと音がするまで押し込みます。
- ・ USIMカードの取り付けのときは、IC部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。

3

USIMカードスロットカバーを閉じる



🏁 取り付け完了です。

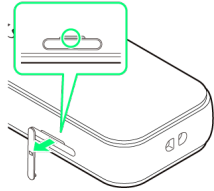
- ・ スロットの位置にカバーを合わせて、軽く押してください。

USIMカードを取り外す

必ずパソコンから取り外した状態で行ってください。

1

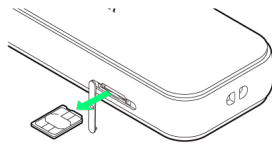
USIMカードスロットカバーを開く



- ・カバー上部のくぼみに指（爪）をかけ、図の示す方向に引きま
す。

2

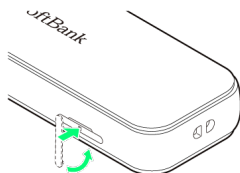
USIMカードをUSIMカードスロットから取り外す




- ・「カチッ」と音がするまで一度押し込んでから、矢印の方向に取
り出します。
- ・USIMカードの取り外しのときは、IC部分に触れたり、傷つけたり
しないようにご注意ください。

3

USIM カードスロットカバーを閉じる



 取り外し完了です。

Windowsパソコンにセットアップする

Windows/パソコンへの取り付け／取り外し.....	12
Windows/パソコンでのドライバのインストール／アンインストール.....	13
Windowsダイヤルアップで接続する.....	15

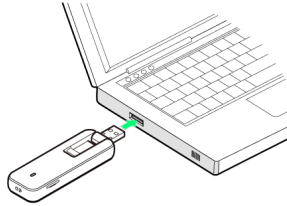
Windowsパソコンへの取り付け／取り外し

Windowsパソコンに本機を取り付ける

パソコンを起動した状態で実行します。
本機を初めてパソコンに接続したときは、ドライバのインストール（セットアップ）を行います。

1

本機をパソコンのUSBポートに接続する



🔌 パソコンが本機を認識します（パソコンが本機を認識するまでしばらくかかります）。

Windowsパソコンから本機を取り外す

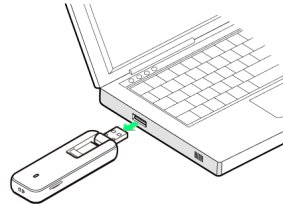
接続を切断し、全ての通信が終了していることを確認してから取り外します。

1

接続を切断し、全ての通信が終了していることを確認

2

本機を取り外す



🔌 取り外し完了です。

⚠ 取り外し時のご注意

スタンバイ／休止時の動作について

本機をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド／レジューム）、または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本機を取り外してから、スタンバイ、または休止を行ってください。また、本機を取り付けた状態で、再起動や電源を入ると正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に本機を取り外してください。

WEB UIについて

本機を取り外す前に、WEB UIを終了させてください。データ通信中は本機を取り外さないでください。

Windowsパソコンでのドライバのインストール/アンインストール

本機を初めてパソコンに接続したときは、ドライバのインストール（セットアップ）を行います。

画面表示、手順はWindows 10の場合を例に説明しています。お使いのOSや環境により、画面や表示されるメッセージが異なる場合があります。

❗ インストール/アンインストール時のご注意

取り外しについて

インストール/アンインストール中に、本機を取り外さないでください。インストール/アンインストールが正常に行われない、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりする恐れがあります。

管理者権限について

管理者権限（Administrator）でログインしてください。

ユーザーアカウント制御について

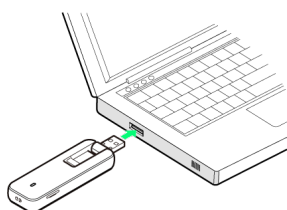
OSの設定によって「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合があります。「はい」または「許可」を選択して操作を続けてください。

Windowsにドライバをインストールする

パソコンを起動した状態で実行します。

1

本機をパソコンのUSBポートに接続する



2

ZTEMODEM

Ⓔ **CD ドライブ (F:) ZTEMODEM**
選択して、このディスク に対して行う操作を選んでください。

3

AutoRun.exeの実行

CD ドライブ (F:) ZTEMODEM

このディスク に対して行う操作を選んでください。

メディアからのプログラムのインストール/実行



AutoRun.exe の実行
ZTE CORPORATION により発行

その他の選択肢



フォルダーを開いてファイルを表示
エクスプローラー



何もしない

🚩 スタートメニューに「A002ZT Hostless Modem」が表示されたらインストール完了です。

Windowsに手動でドライバをインストールする

お使いのパソコンの環境によって、インストールが自動的に開始されない場合や、インストール操作を選択する画面が表示されない場合があります。次の手順でインストールしてください。

1

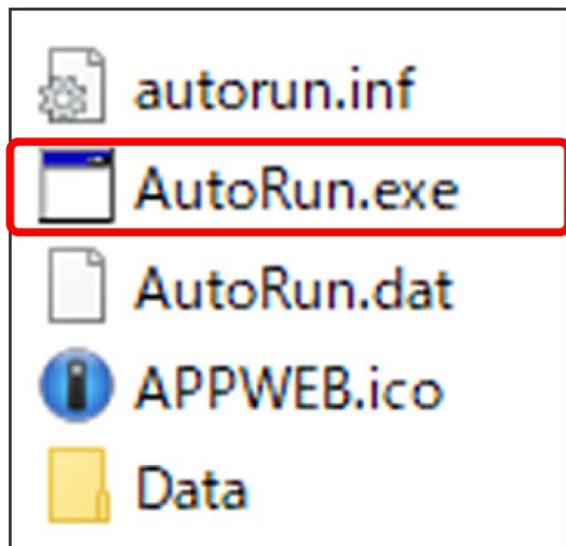
スタートメニューから Windows システムツール → エクスプローラー

2

PC → ZTEMODEM

3

AutoRun.exe をダブルクリック



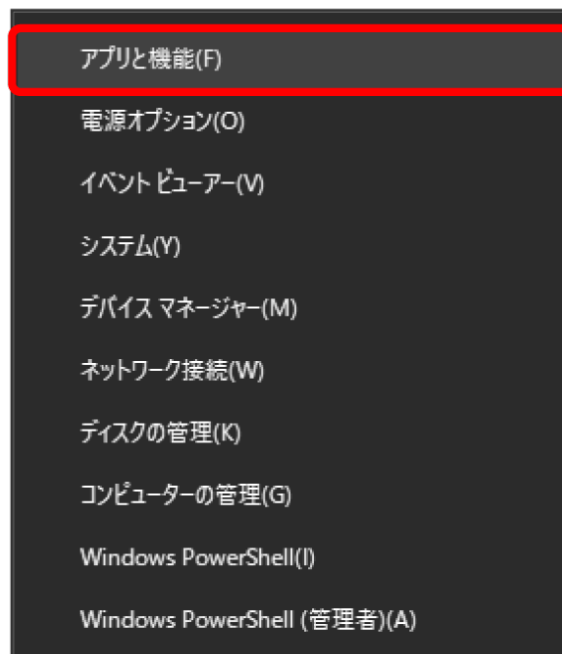
スタートメニューに「A002ZT Hostless Modem」が表示されたらインストール完了です。

Windowsからドライバをアンインストールする

パソコンから本機を取り外してから実行します。

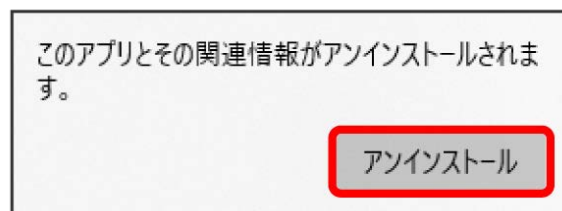
1

スタートメニューを右クリック → アプリと機能



2

A002ZT Hostless Modem → アンインストール → アンインストール



3

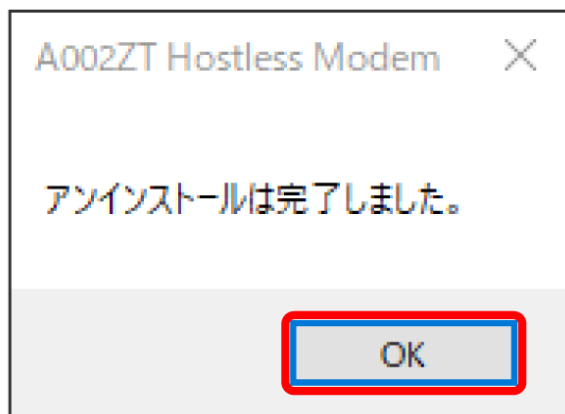
はい → はい



アンインストールが実行されます。

4

OK



スタートメニューから「A002ZT Hostless Modem」が消去されたらアンインストール完了です。

Windowsダイヤルアップで接続する

新規でダイヤルアップ接続を設定するには、接続先の電話番号およびアカウント情報が必要です。接続先の電話番号は「*99#」または「*99***1#」、アカウント情報はソフトバンクウェブサイト (<https://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/data/a002zt/support/>)、接続するインターネットサービスプロバイダ (ISP)、ネットワーク管理者に確認してください。

画面表示、手順はWindows 10の場合を例にしています。お使いのOSや環境により、画面や表示されるメッセージが異なる場合があります。

ダイヤルアップ接続をするには、本機を「モデムモード」に設定してください。モードの切り替えは、「端末モード設定ツール」で設定できます。下記のURLからダウンロードしてください。

<https://www.ztedevices.com/jp/?soft=a002zt-tool-download>

Windowsダイヤルアップで接続する

パソコンを起動した状態で実行します。

1

スタートメニューをクリック → Windows システム ツール → コントロール パネル

2

ネットワークとインターネット → ネットワークと共有センター → 新しい接続またはネットワークのセットアップ

3

接続オプションの インターネットに接続します を選択 → 次

・既存の接続を使用するかどうかの確認画面が表示された場合は、「新しい接続をセットアップします」を選択します。

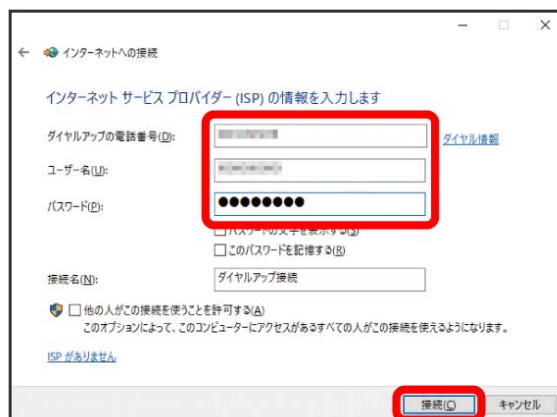
4

ダイヤルアップ

・本機以外のモデムやTAがインストールされている場合は、デバイスを選択する画面が表示されますので、本機（「モデム -ZTE Proprietary USB Modem #2」）を選択します。

5

入手した接続先の電話番号およびアカウント情報を入力して 接続



6

接続中画面で **スキップ** → **閉じる**

7

「ネットワークと共有センター」で **アダプターの設定の変更**
→ 作成した接続先アイコンを右クリック → **プロパティ**

8

プロパティ画面の「オプション」／「セキュリティ」／「ネットワーク」／「共有」の各タブで、入手した接続に必要な設定を行う

9

プロパティ画面の「全般」タブで、「接続の方法」が「モデム - ZTE Proprietary USB Modem #2 (COMXX)」／「電話番号」が手順 **5** で入力した電話番号かどうかを確認

10

「ダイヤル情報を使う」にチェックを付けて **ダイヤル情報**

11


所在地情報を登録／編集 → **OK** → プロパティ画面で **OK**

12

デスクトップ画面右下の  → 作成した設定をクリック → **ダイヤルアップ接続** → **接続**

13

接続画面で **ダイヤル**

 ダイヤルアップで接続されます。

Macにセットアップする

Macへの取り付け／取り外し.....	18
Macでのドライバのインストール／アンインストール.....	18

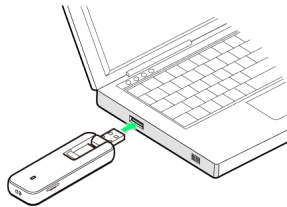
Macへの取り付け／取り外し

Macに本機を取り付ける

本機を初めてパソコンに接続したときは、ドライバのインストール（セットアップ）を行います。

1

本機をMacのUSBポートに接続する



Macが本機を認識します（Macが本機を認識するまでしばらくかかります）。

Macから本機を取り外す

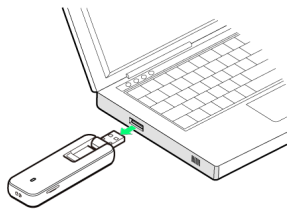
接続を切断し、全ての通信が終了していることを確認してから取り外します。

1

接続を切断し、全ての通信が終了していることを確認

2

Macから本機を取り外す



取り外し完了です。

！ 取り外し時のご注意

スリープ時の動作について

本機をMacに取り付けた状態でスリープを行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本機を取り外してから、スリープを行ってください。また、本機を取り付けた状態で、再起動や電源を入れると正常に動作しない場合があります。この場合、Macを起動する前に本機を取り外してください。

WEB UIについて

本機を取り外す前に、WEB UIを終了させてください。データ通信中は本機を取り外さないでください。

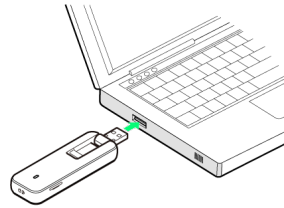
Macでのドライバのインストール／アンインストール

画面表示、手順はMac OS X 10.15.4の場合を例に説明しています。お使いのOSや環境により、画面や表示されるメッセージが異なる場合があります。


Macにドライバをインストールする

1

本機をMacのUSBポートに接続する



デスクトップに「ZTEMODEM」アイコンが表示され、「A002ZT Hostless Modem」フォルダが自動的に開きます。

- ・デスクトップにアイコンが表示されない場合は、
 ZTEMODEMをクリックしてください。

2

A002ZT Hostless Modem をダブルクリック



3

ユーザ名とパスワードを入力 → OK



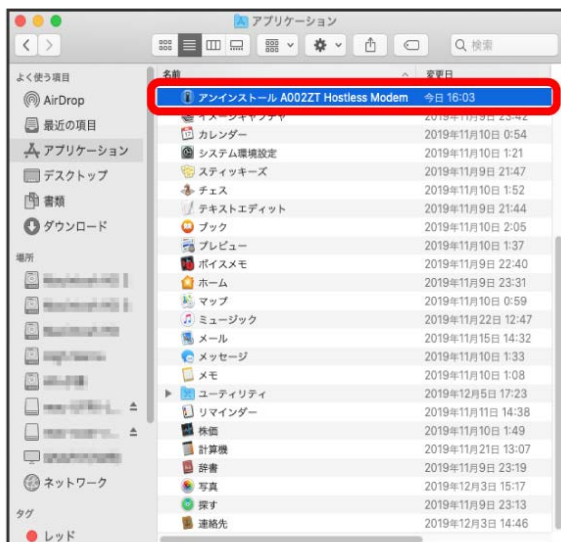
ドライバがインストールされます。

Macからドライバをアンインストールする

インストールしたMacでWEB UIを利用しなくなった場合には、Macからアプリを次の手順でアンインストール（削除）します。

1

アプリケーション → アンインストール A002ZT Hostless Modem



2

アンインストール

3

ユーザ名とパスワードを入力 → OK



アンインストールが実行されます。

4

閉じる

アプリケーションフォルダから「A002ZT Hostless Modem」が消去されたらアンインストール完了です。

インストール／アンインストール時のご注意

取り外しについて

インストール／アンインストール中に、本機を取り外さないでください。インストール／アンインストールが正常に行われず、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりする恐れがあります。

管理者権限について

管理者権限（Administrator）でログインしてください。

インストール時の言語表示について

インストーラーの表示言語は、Mac OSの表示言語の設定に従います。言語の変更はできません。

各種機能を設定する（WEB UIを使用する）

WEB UIの概要.....	22
パソコンからのWEB UIの見かた.....	25
通信を接続／切断する.....	29
データ通信量の設定.....	31
モバイルネットワークの設定.....	34
端末設定.....	62
お知らせを確認する.....	100
本機の情報を確認する.....	104
サポートウェブサイトを表示する.....	106

WEB UIの概要

本機を接続したパソコンから、Webブラウザを利用して本機についての各種情報の確認や設定ができます。
本機の対応ブラウザは「[動作環境（対応OS）](#)」を参照してください。

! WEB UIに関するご注意

WEB UIについては、次の点にご注意ください。


- ・ 端末モード設定ツールで通常モードからモデムモードに変更した場合は、WEB UIを使用できなくなります。

パソコンからWEB UIを起動する

画面表示、手順はWindows 10の場合を例に説明しています。お使いのOSや環境により、画面や表示されるメッセージが異なる場合があります。

1

パソコンを起動し、本機と接続する

 WEB UIのホーム画面（「ホーム」タブ画面）が表示されます。

- ・ 必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

+ WEB UIを手動で起動する

自動でWEB UIのホーム画面が表示されない場合は、次のいずれかの操作でWEB UIを起動してください。

- ・ Webブラウザを起動 → アドレス入力欄に「<http://web.setting>」と入力
- ・ スタートメニューをクリック → [A002ZT Hostless Modem](#)

! WEB UIの使用に関するご注意

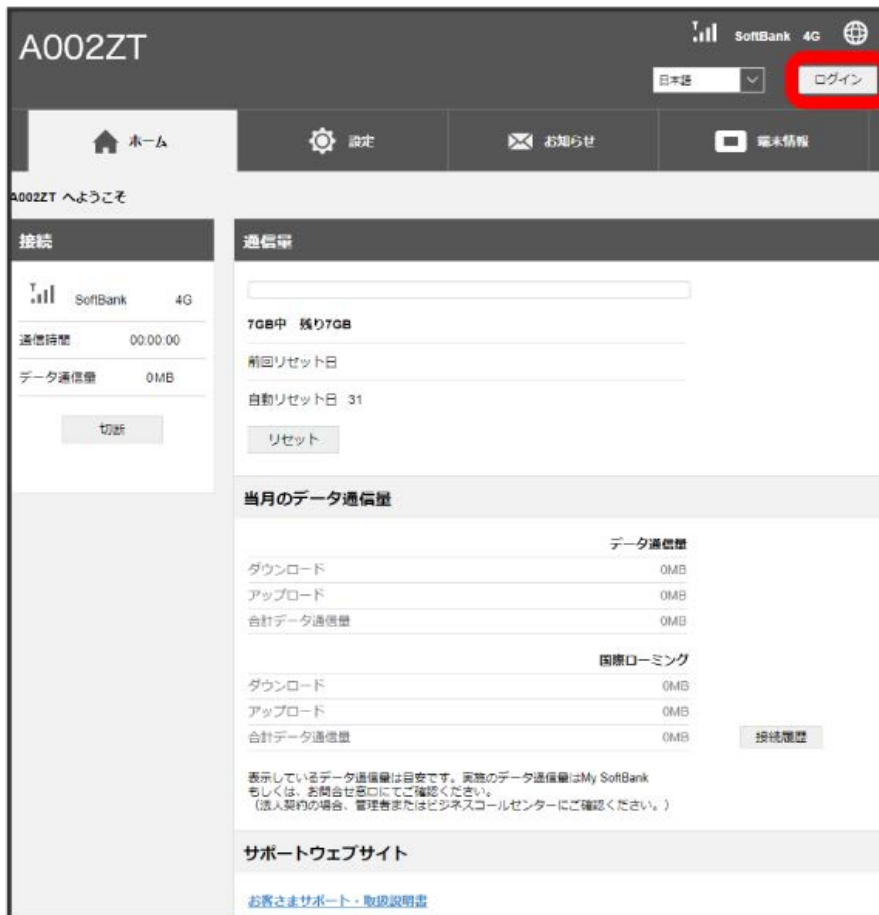
次の場合は、パソコン側の設定によってWEB UIが表示されない場合があります。


- ・ プロキシサーバーを設定している場合
- ・ DNSを「自動取得」以外に設定している場合
- ・ ネットワークアダプターが複数ある場合
- ・ 手動で設定したIPアドレスが、本機と異なるネットワークセグメントになっている場合

パソコンからWEB UIにログインする

1

WEB UIのホーム画面（「ホーム」タブ）で **ログイン**



 ログイン画面が表示されます。

ログインパスワードを入力 → ログイン

画面右上に「ログアウト」ボタンが表示され、ログインが完了します。

・お買い上げ時のログインパスワードは、「admin」に設定されています。

💡 お買い上げ時のログインパスワードについて

セキュリティ保護のため、お買い上げ時のログインパスワードは変更することをおすすめします。
ログインパスワードを変更する方法は、「[WEB UIのログインパスワードを変更する](#)」を参照してください。

⚠ WEB UIへのログインについて

WEB UIのログインについては、次の点に注意してください。
・約5分間WEB UIが操作されない場合、自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。

パソコンからのWEB UIの見かた

ホーム画面の見かた

言語の切り替えやログイン/ログアウト、接続情報やデータ通信量の確認ができます。



項目	説明
1 メインメニュー ¹	タブメニューを切り替えます。
2 言語	WEB UIで表示する言語を切り替えます。
3 ログイン/ログアウト	WEB UIへのログイン/ログアウトを選択します。

4 接続情報

受信レベルのアイコン：
モバイルネットワークの受信レベルをアイコンで表示します。
ネットワークオペレーター表示：
接続中のネットワークオペレーター名を表示します。
ネットワークの種類：
4G/LTE/3Gのいずれかを表示します。
通信時間：
接続してから現在までの通信時間を表示します。
データ通信量：
接続してから現在までの送信/受信データ通信量を表示します。
接続/切断ボタン：
ネットワークの接続/切断を手動で設定します。

5 通信量

前回リセットしてからのデータ通信量を表示します。

6 当月のデータ通信量

リセット後にアップロード/ダウンロードしたデータ量などを表示します。

1 WEB UIにログインしていない場合は、ログインパスワードの入力が必要です。

+ ホーム画面表示時の操作

データ通信量をリセットする

ホーム画面で **リセット**

データ通信の接続履歴を確認する

ホーム画面で **接続履歴**

設定画面の見かた







項目	説明
1 メニューリスト	<p>本機の各種設定ができます。設定項目は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">・データ通信量設定 モバイルネットワークのデータ通信量をWEB UI上に表示するかどうかの設定や、データ通信量の最大通信量と通信量をリセットする日の設定ができます。 詳しくは、「データ通信量の設定」を参照してください。・モバイルネットワーク ネットワーク設定／接続管理／APN設定／USIMカードの認証などができます。 詳しくは、「モバイルネットワークの設定」を参照してください。・端末設定 WEB UIのログインパスワード変更、ソフトウェア更新などの本機の設定ができます。 詳しくは、「端末設定」を参照してください。
2 設定ページ	<p>各機能の情報／設定画面が表示されます。</p>

各種機能を設定する（WEB UIを使用する）

3 ステータスアイコン

モバイルネットワークの受信レベル：

（強）⇔ （弱）⇔ （圏外）


（ローミング中）


4G：4G接続中


LTE：LTE接続中


3G：3G接続中


モバイルネットワークとの接続状況：


：モバイルネットワークへの接続開始時に表示されます。


：モバイルネットワークとの接続中に表示されます。


：データをダウンロードしているときに表示されます。

：データをアップロードしているときに表示されます。


：データ通信中（アップロードデータ・ダウンロードデータあり）に表示されます。


：モバイルネットワークへ接続されていないときに表示されます。

：本機の温度が60℃以上の高温になり、通信速度が制限された場合に表示されます。


：本機の温度が70℃以上の高温になり、通信を停止した場合に表示されます。

ソフトウェア更新通知：


：更新可能なソフトウェアが検出されたときに表示されます。

：更新可能なソフトウェアをダウンロードしたときに表示されます。

お知らせ：

：未読のお知らせがある場合に表示されます。

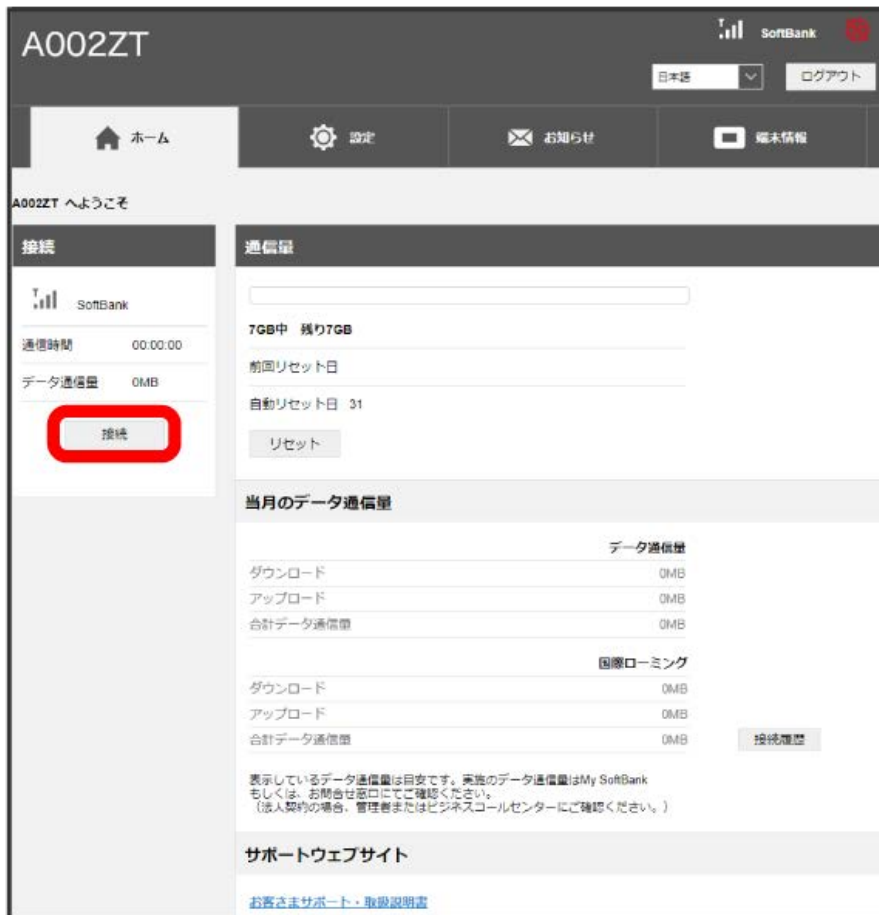
USIMカード：

USIM：USIMカードが未挿入のときに表示されます。

通信を接続／切断する

通信を接続する

1

WEB UI画面で **接続**

通信が接続されます。

通信を切断する

1

WEB UI画面で **切断**

The screenshot shows the A002ZT mobile app interface. At the top, the status bar displays 'SoftBank 4G'. The app header includes the title 'A002ZT', a language dropdown set to '日本語', and a 'ログアウト' button. Below the header is a navigation bar with icons for 'ホーム' (Home), '設定' (Settings), 'お知らせ' (Notifications), and '端末情報' (Device Information). The main content area is divided into two columns. The left column, titled '接続' (Connection), shows '通信時間' (Communication Time) as 00:12:46 and 'データ通信量' (Data Usage) as 64.01MB. A red rectangle highlights the '切断' (Disconnect) button. The right column, titled '通信量' (Usage), shows a progress bar, '7GB中 残り6.9GB', and buttons for 'リセット' (Reset). Below this is a section for '当月のデータ通信量' (Monthly Data Usage) with tables for 'データ通信量' and '国際ローミング'. At the bottom, there is a 'サポートウェブサイト' (Support Website) section with a link to 'お客様サポート・取扱説明書'.

データ通信量	
ダウンロード	99.46MB
アップロード	5.67MB
合計データ通信量	105.13MB

国際ローミング	
ダウンロード	0MB
アップロード	0MB
合計データ通信量	0MB

表示しているデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy SoftBank
もしくは、お問合せ窓口にてご確認ください。
(法人契約の場合、管理者またはビジネスコールセンターにご確認ください。)

サポートウェブサイト
[お客様サポート・取扱説明書](#)



通信が切断されます。

データ通信量の設定

モバイルネットワークのデータ通信量が最大通信量に達した場合、WEB UIでお知らせするかどうかの設定や、データ通信量の最大通信量と通信量をリセットする日の設定ができます。

表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量と異なることがあります。実際のデータ通信量について、法人で契約された場合は管理者またはビジネスコールセンターにご確認ください。個人で契約された場合は[お問い合わせ先](#)をご確認ください。

最大通信量のお知らせを設定する

データ通信量が最大通信量に達した場合、WEB UIでお知らせするように設定できます。

- ・お買い上げ時はOFFに設定されています。

1

「設定」タブ → データ通信量設定



2

「最大通信量のお知らせ」の ON / OFF → 保存



🚩 データ通信量が最大通信量に達した場合、WEB UIに通知されます。

最大通信量を設定する

毎月のデータ通信量の目安値を設定できます。設定したデータ通信量を超えると、WEB UIでお知らせを表示します。

- ・設定する最大通信量は、それ以上通信ができなくなることを示すものではありません。お使いいただく際の目安としてご利用ください。なお、本機能でカウントするデータ量はご契約されるプランに関係なく、端末側の目安でのデータ量となり実際のデータ量とは異なりますので、ご注意ください。

1

「設定」タブ → データ通信量設定



2

最大通信量とする数値を入力 → 通信量の単位を選択 → 保存



🚩 最大通信量が設定されます。

- ・数値は1～999の範囲で入力できます。
- ・単位は **GB** または **MB** を選択できます。

自動リセット日を設定する

毎月、データ通信量を自動的にリセットする日を設定できます。

1

「設定」タブ → データ通信量設定



2

自動リセット日を入力 → 保存



🚩 データ通信量を自動的にリセットする日が設定されます。

- ・数値は1～31の範囲で入力できます。
- ・自動リセット日を31に設定すると、月末日が31日に満たない月でも月末日にリセットされます。

💡 「リセット」と「自動リセット」について

「リセット」と「自動リセット」では、リセットする内容が異なります。

「リセット」は、WEB UIの「ホーム」タブに表示されている「通信量」にある **リセット** をクリックすることで、即時に累積されたデータ通信量の数値をリセットします。

「自動リセット」は、当月のデータ通信量のみを、設定した自動リセット日から翌日に変わるタイミングでリセットします。リセット日以降のデータ通信量は引き続き累積します。

リセットされた日は、WEB UIの「ホーム」タブに表示されている「通信量」の「前回リセット日」で確認できます。

モバイルネットワークの設定

モバイルネットワークをご利用になる場合、本機は特別な設定なしにネットワーク接続が可能です。アクセスポイント（APN）を変更して接続するには、接続先に応じたプロファイル作成などが必要になる場合があります。

モバイルネットワークの設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
ネットワーク設定	ネットワークに関する設定ができます。 詳しくは、「 ネットワークモードを設定する 」「 ネットワーク接続設定を変更する 」「 国際ローミングを設定する 」「 モバイルネットワークを検索する 」を参照してください。
接続管理	ネットワークに接続するときのパスワード入力に関する設定ができます。 詳しくは、「 接続時のパスワード入力を設定する 」、「 接続時のパスワード／ユーザー名入力を設定する 」を参照してください。
APN	アクセスポイントのプロファイルに関する設定ができます。 詳しくは、「 プロファイルタイプを設定する 」「 プロファイルを作成する 」「 プロファイルを編集する 」「 プロファイルを削除する 」を参照してください。
USIMカード	USIMカードのPIN認証に関する設定ができます。 詳しくは、「 PINコードについて 」「 PIN認証を設定する 」「 PIN認証を行う 」「 PINコードを変更する 」を参照してください。

ネットワークモードを設定する

通信する際の通信方式（4G/LTE/3G/GSMまたは4G/LTE）を設定できます。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → ネットワーク設定

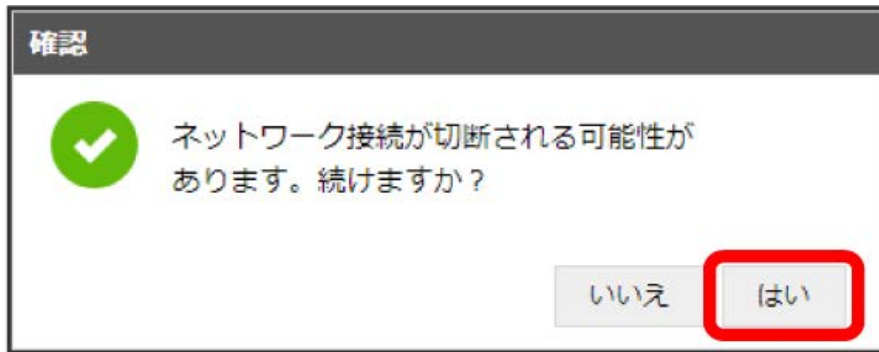


2

「ネットワークモード」の 4G/LTE/3G/GSM / 4G/LTE → 保存



はい



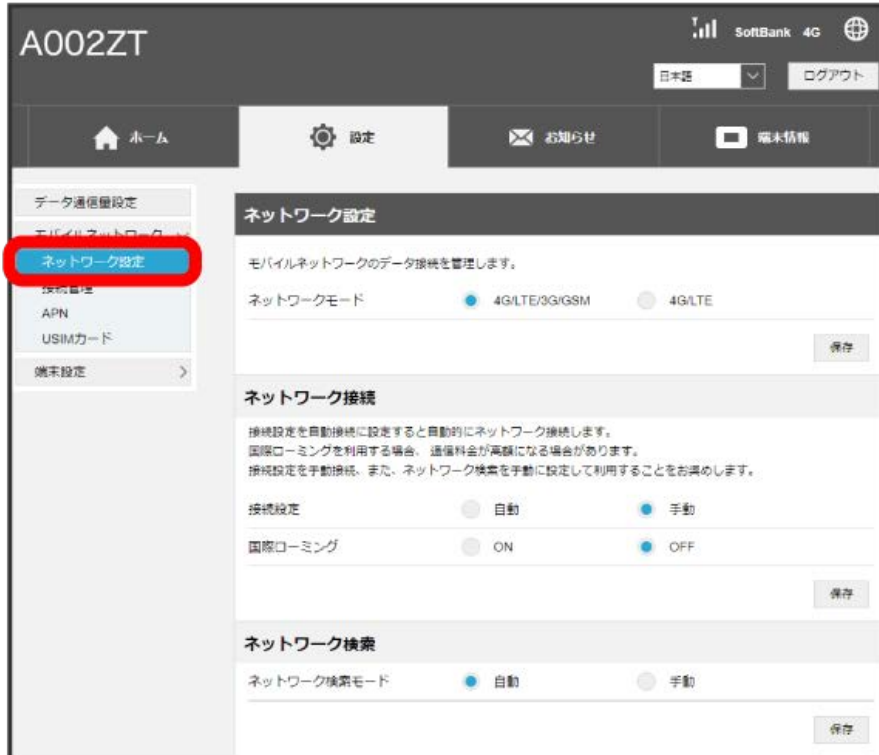
🚩 ネットワークが設定されます。

ネットワーク接続設定を変更する

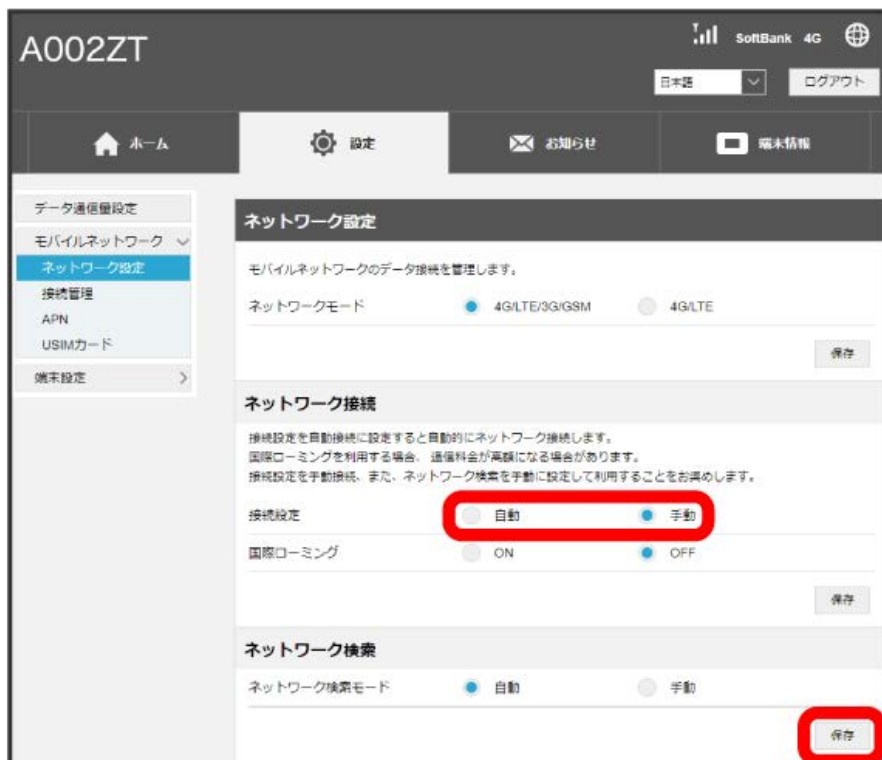
ネットワーク接続設定を自動接続に設定すると自動的にネットワーク接続します。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → ネットワーク設定



「接続設定」の **自動** / **手動** ➔ **保存**



🚩 本機の再起動後に、ネットワーク接続の設定が変更されます。

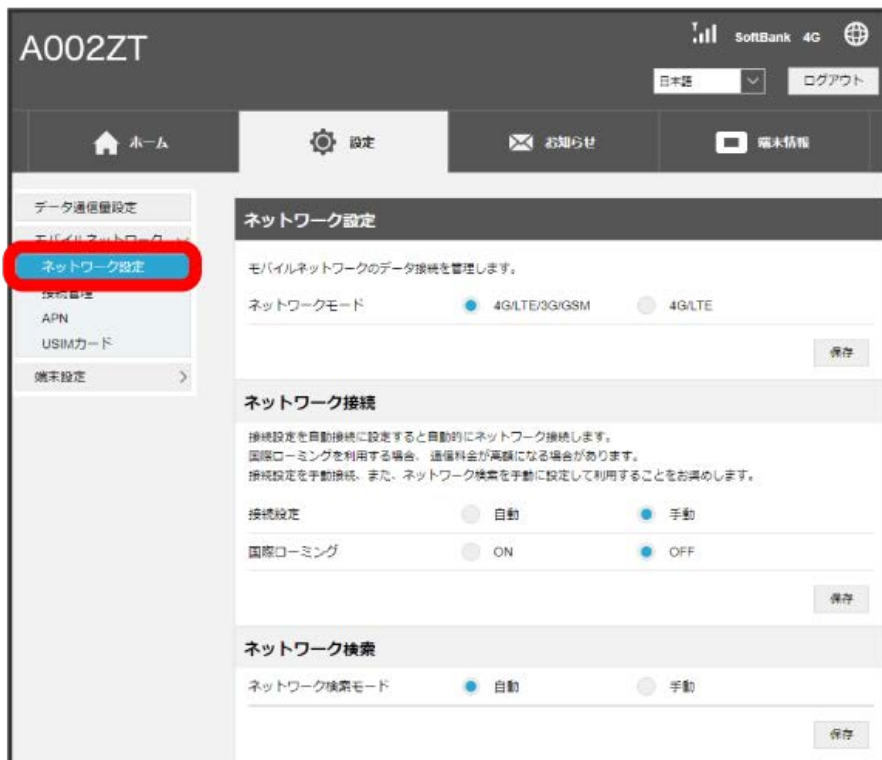
- ・自動的にネットワーク接続されない場合、WEB UIを終了し、本機をパソコンから取り外して再度接続してください。
- ・次の場合は、自動的にネットワーク接続されません。
 - ・「接続時のパスワード入力」がONの場合
 - ・「接続時にユーザー名とパスワードを確認する」がONの場合
 - ・「APN」の設定が間違っている場合
 - ・「APN」のユーザーID/パスワードが空白の場合
 - ・PIN認証が設定されている場合
 - ・「法人機能設定ツール」の「接続先限定」で、「PC内デフォルトプロファイル名」で入力したプロファイル名がPCプロファイルに存在していない場合

国際ローミングを設定する

国際ローミングの利用をONにします。

1

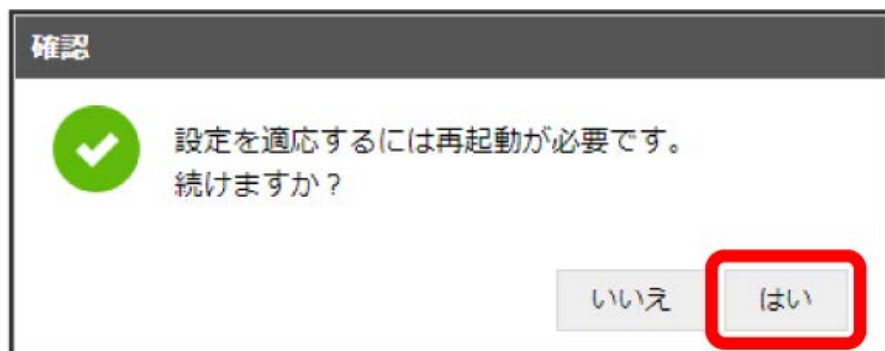
「設定」タブ → モバイルネットワーク → ネットワーク設定




2

「国際ローミング」の ON → 保存





 本機の再起動後に、国際ローミングの設定が変更されます。

・海外でのご利用は高額となる場合がありますのでご注意ください。

国際ローミング中にモバイルネットワークを設定する

国際ローミング中に、モバイルネットワークを手動で検索して設定できます。詳しくは、「[モバイルネットワークを検索する](#)」を参照してください。

海外ご利用時のご注意

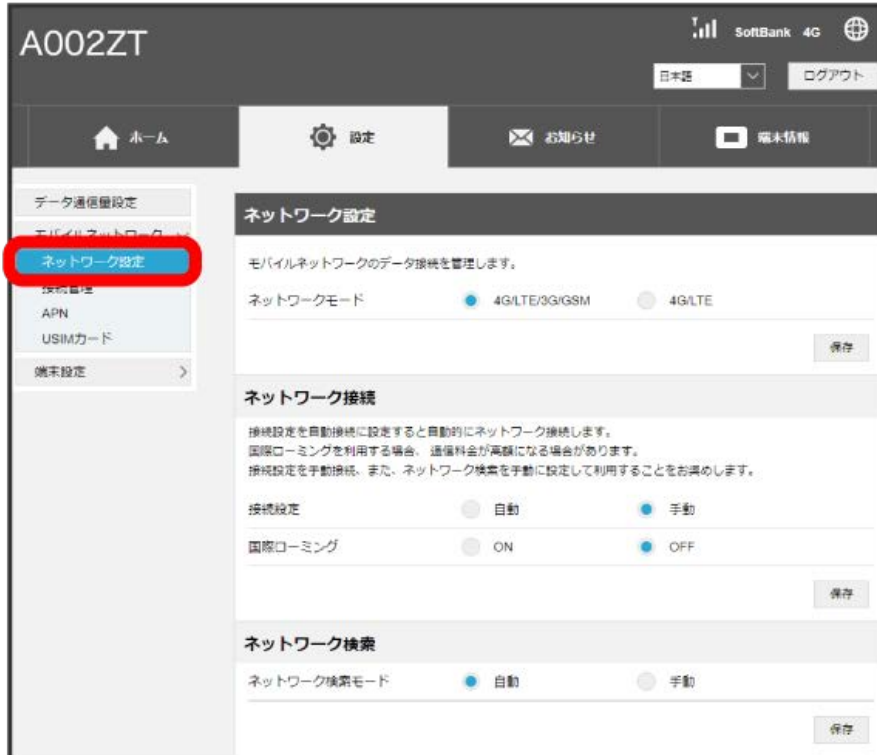
海外から日本に移動したときは、本機をパソコンから取り外し、再度接続してください。

モバイルネットワークを検索する

モバイルネットワークを検索して、ネットワークを設定できます。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → ネットワーク設定



「ネットワーク検索モード」の **手動** → **ネットワークを検索**



🚩 設定できるモバイルネットワークのリストが作成されます。

・確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

設定するモバイルネットワークを選択 → 保存

A002ZT

日本語 ログアウト

ホーム

設定

お知らせ

端末情報

データ通信設定

モバイルネットワーク

ネットワーク設定

接続管理

APN

USIMカード

端末設定

ネットワーク設定

モバイルネットワークのデータ接続を管理します。

ネットワークモード

4G/LTE/3G/GSM

4G/LTE

保存

ネットワーク接続

接続設定を自動接続に設定すると自動的にネットワーク接続します。
国際ローミングを利用する場合、通話料金が高額になる場合があります。
接続設定を手動接続。また、ネットワーク検索を手動に設定して利用することをお奨めします。

接続設定

自動

手動

国際ローミング

ON

OFF

保存

ネットワーク検索

ネットワーク検索モード

自動

手動

ネットワークを検索

ネットワークリスト

選択	状態	ネットワークオペレーター	MCC-MNC	モバイルネットワーク
<input type="radio"/>	利用中	SoftBank	210-10	4G
<input checked="" type="radio"/>	利用可能	SoftBank	210-10	3G
<input type="radio"/>	利用可能	SoftBank	210-10	4G
<input type="radio"/>	利用不可	SoftBank	210-10	4G
<input type="radio"/>	利用不可	SoftBank	210-10	4G
<input type="radio"/>	利用不可	SoftBank	210-10	4G
<input type="radio"/>	利用不可	SoftBank	210-10	3G
<input type="radio"/>	利用可能	SoftBank	210-10	4G

保存

🚩 ネットワークが設定されます。

接続時のパスワード入力を設定する

ネットワークに接続するときにパスワードを入力するよう設定します。

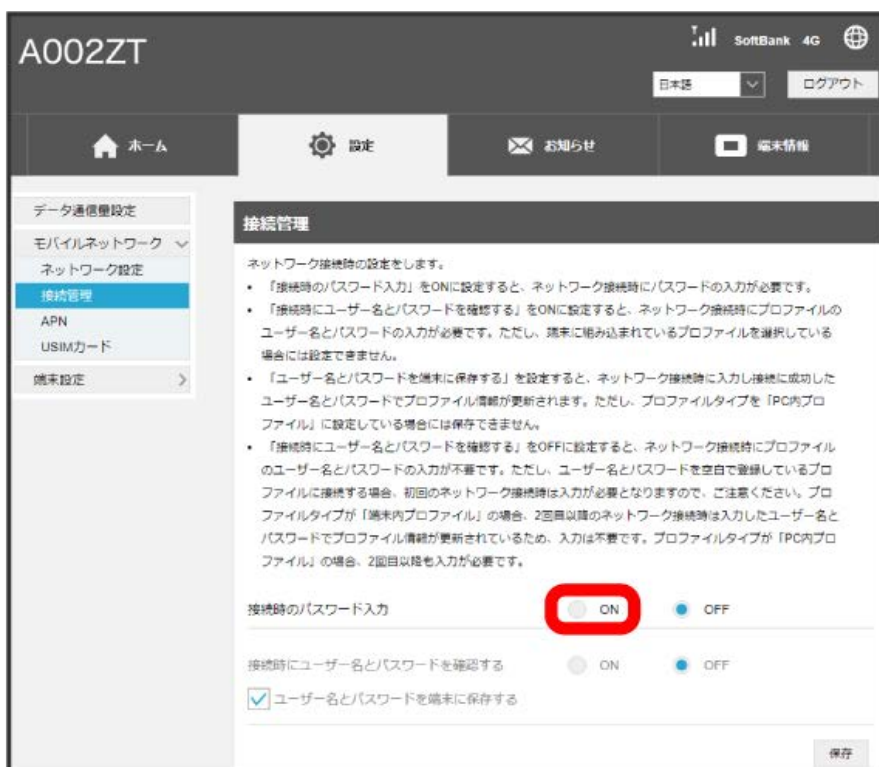
1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → 接続管理



2

「接続時のパスワード入力」の ON



パスワードを入力 → 保存

A002ZT

日本語 ログアウト

ホーム 設定 お知らせ 端末情報

データ通信量設定

モバイルネットワーク

ネットワーク設定

接続管理

APN

USIMカード

端末設定

接続管理

ネットワーク接続時の設定をします。

- 「接続時のパスワード入力」をONに設定すると、ネットワーク接続時にパスワードの入力が必要です。
- 「接続時にユーザー名とパスワードを確認する」をONに設定すると、ネットワーク接続時にプロファイルのユーザー名とパスワードの入力が必要です。ただし、端末に組み込まれているプロファイルを選択している場合には設定できません。
- 「ユーザー名とパスワードを端末に保存する」を設定すると、ネットワーク接続時に入力し接続に成功したユーザー名とパスワードでプロファイル情報が更新されます。ただし、プロファイルタイプを「PC内プロファイル」に設定している場合には保存できません。
- 「接続時にユーザー名とパスワードを確認する」をOFFに設定すると、ネットワーク接続時にプロファイルのユーザー名とパスワードの入力が不要です。ただし、ユーザー名とパスワードを空白で登録しているプロファイルに接続する場合、初回のネットワーク接続時は入力が必要となりますので、ご注意ください。プロファイルタイプが「端末内プロファイル」の場合、2回目以降のネットワーク接続時は入力したユーザー名とパスワードでプロファイル情報が更新されているため、入力は不要です。プロファイルタイプが「PC内プロファイル」の場合、2回目以降も入力が必要です。

接続時のパスワード入力 ☒ ON ☐ OFF

パスワード *

接続時にユーザー名とパスワードを確認する ☐ ON ☒ OFF

☒ ユーザー名とパスワードを端末に保存する

保存

🚩 ネットワークに接続するときにパスワードの入力が必要になります。

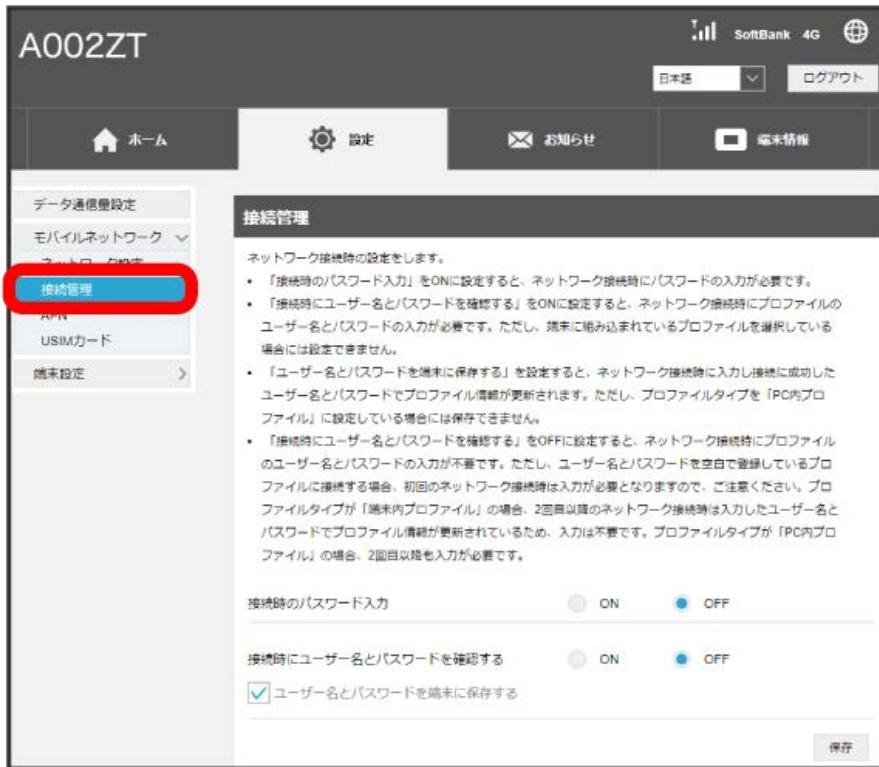
接続時のパスワード／ユーザー名入力を設定する

ネットワークに接続したときにパスワード／ユーザー名を入力するよう設定します。

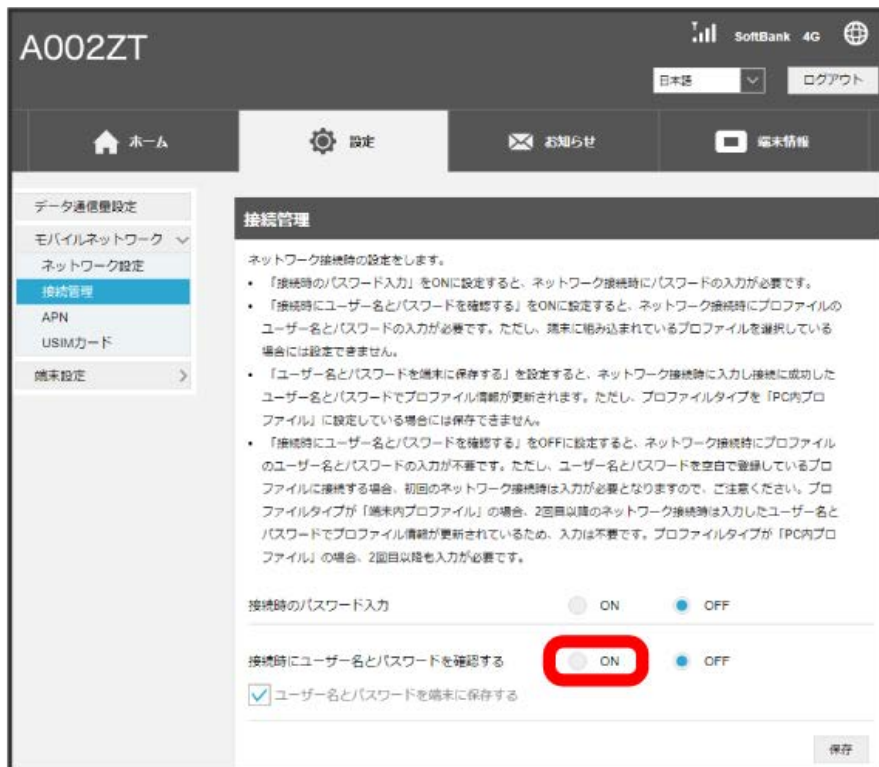
・端末に組み込まれているプロファイル（commercial IPv4等）を選択している場合には設定できません。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → 接続管理



「接続時にユーザー名とパスワードを確認する」の **ON**





🚩 ネットワークに接続したときにパスワード／ユーザー名の入力が必要になります。

- ・「ユーザー名とパスワードを端末に保存する」を設定すると、ネットワーク接続時に入力し接続に成功したユーザー名とパスワードでプロファイル情報が更新されます。ただし、プロファイルタイプを「PCプロファイル」に設定している場合には保存できません。
- ・「接続時にユーザー名とパスワードを確認する」をOFFに設定すると、ネットワーク接続時にプロファイルのユーザー名とパスワードの入力が不要です。ただし、ユーザー名とパスワードを空白で登録しているプロファイルに接続する場合、初回のネットワーク接続時は入力が必要となりますので、ご注意ください。プロファイルタイプが「端末内プロファイル」の場合、2回目以降のネットワーク接続時は入力したユーザー名とパスワードでプロファイル情報が更新されているため、入力は不要です。プロファイルタイプが「PCプロファイル」の場合、2回目以降も入力が必要です。

プロファイルタイプを設定する

プロファイルタイプを設定します。ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
端末内プロファイル	端末内のプロファイルを設定します。
PCプロファイル	パソコン内のプロファイルを設定します。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → APN



2

プロファイルタイプを選択 → 保存



🚩 プロファイルタイプが設定されます。

・確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

プロファイルを作成する

接続先のAPNを追加・変更するには、次の項目を設定して新しいプロファイルを作成します。
作成できるのは端末内プロファイルのみです。PCプロファイルは、プロファイル生成ツールで作成できます。詳しくは企業管理者にお問い合わせ下さい。


項目	説明
現在のプロファイル	現在選択されているプロファイルを表示します。
プロファイル	使用するプロファイルを選択します。 ¹
IPタイプ	IPタイプを選択します。
プロファイル名	プロファイル名を入力します。
APN	APNを入力します。
認証	認証方法を選択します。
ユーザー名	ユーザー名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
DNS設定	DNS設定を選択します。

- 1 **「法人」閉域網契約専用APN（共通）** は、当社が提供する法人のお客様向け閉域網サービス「ネットワーク・VPN ゲートウェイ セキュアモバイルアクセス」専用の共通APNです。
ご利用には別途「ネットワーク・VPN ゲートウェイ セキュアモバイルアクセス」のご契約が必要です。
「ネットワーク・VPN ゲートウェイ セキュアモバイルアクセス」に関する詳細については、https://www.softbank.jp/biz/cloud/sdngateway/secure_mobile_ac/をご覧ください。

1

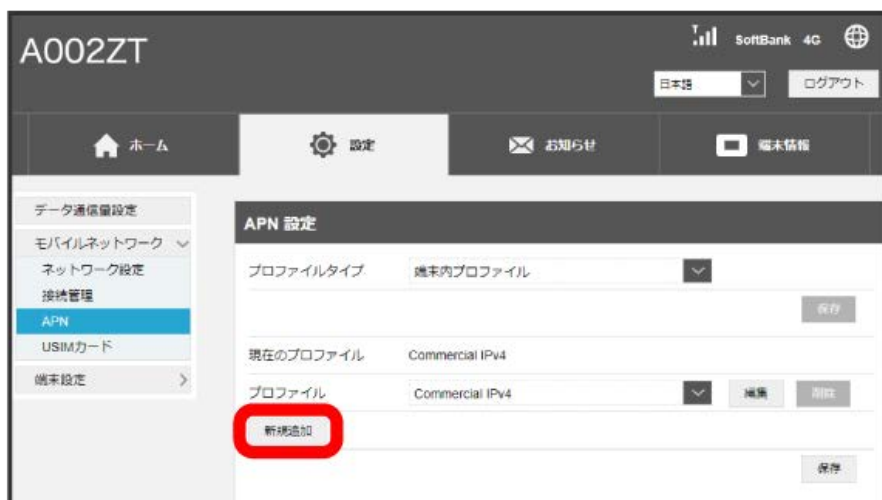
「設定」タブ → モバイルネットワーク → APN



 現在のプロファイルが表示されます。

2

新規追加



新規プロファイルの作成画面が表示されます。

3

各項目を設定 → 保存



新規プロファイルが作成され、プロファイル管理画面に戻ります。「プロファイル」のプルダウンメニューに作成したプロファイル名が表示され、選択すると作成したプロファイルの内容に切り替わります。

各種機能を設定する (WEB UIを使用する)

プロフィールを編集する

端末内プロフィールに作成したプロフィールを編集できます。

お買い上げ時に設定されている初期プロフィールは、DNS設定のみ編集できます。現在接続に使用中のプロフィールは編集できません。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → APN


**2**

プロフィール名を選択 → 編集



3

各項目を入力 → 保存

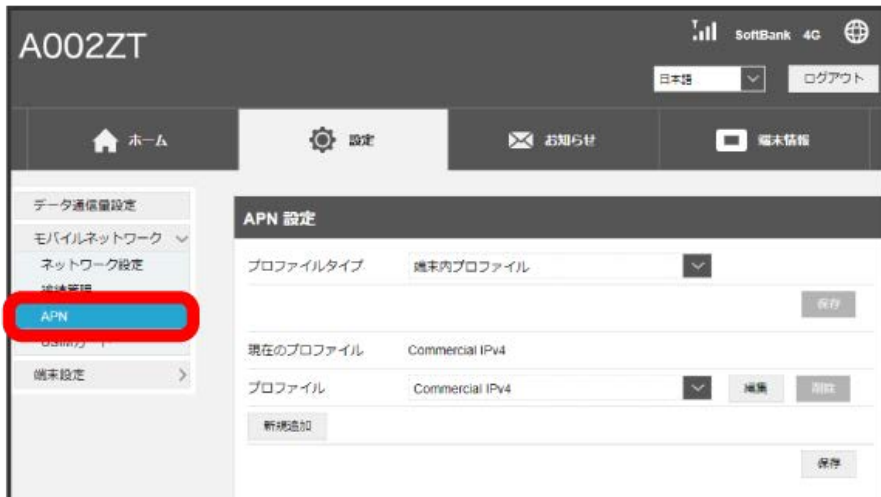
 編集した内容が表示されます。

プロフィールを削除する

端末内プロフィールに作成したプロフィールを削除します。
お買い上げ時に登録されている初期プロフィールは削除できません。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → APN

**2**

プロフィール名を選択 → 削除





 プロファイルが削除されます。

PINコードについて

PIN (Personal Identification Number) は、不正ユーザーがUSIMカードを使用することを防ぐために使われるコードです。

- ・ PIN認証を有効に設定すると、パソコンに本機を取り付けたときにWEB UIからPINコードを入力しないと本機を使用することができなくなります。
- ・ PINコードを3回連続で間違えるとPINロック状態になります。その場合PINロック解除コード (PUKコード) が必要になります。PINロック解除コード (PUKコード) については、[お問い合わせ先](#)にご確認ください。またPINロック解除コード (PUKコード) を10回連続で間違えると、完全ロック状態となります。完全ロック状態となった場合は所定の手続きが必要になります。[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

PIN認証を設定する

PINコードによる認証を設定します。

お買い上げ時のUSIMカードのPINコードは、「9999」に設定されています。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → USIMカード



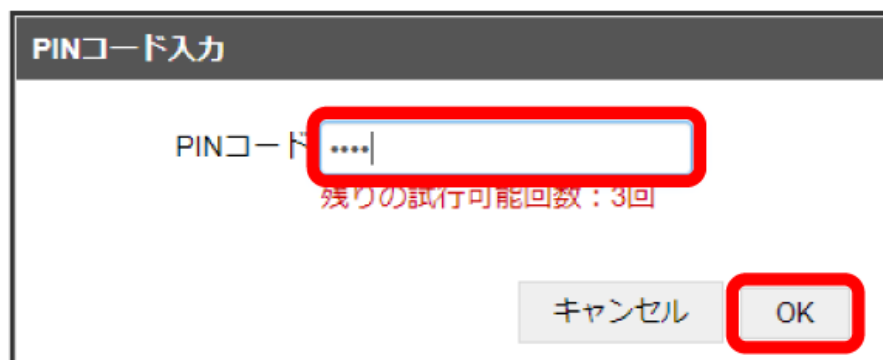
2

「PIN認証/変更」の 有効 を確認 → 保存



3

PINコードを入力 → OK



パソコンに接続したときにWEB UIからPINコードの入力が必要になります。

PIN認証を解除する


「設定」タブ  モバイルネットワーク  USIMカード  「PIN認証／変更」の  を確認  保存  PINコードを入力 

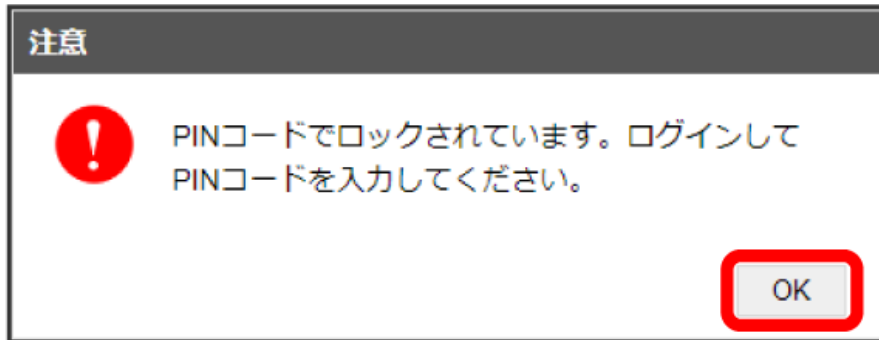
 OK


PIN認証を行う

本機をパソコン接続したときに、パソコンからWEB UIへアクセスしようとすると、「PINコードでロックされています。ログインしてPINコードを入力してください。」という注意画面が表示されます。

1

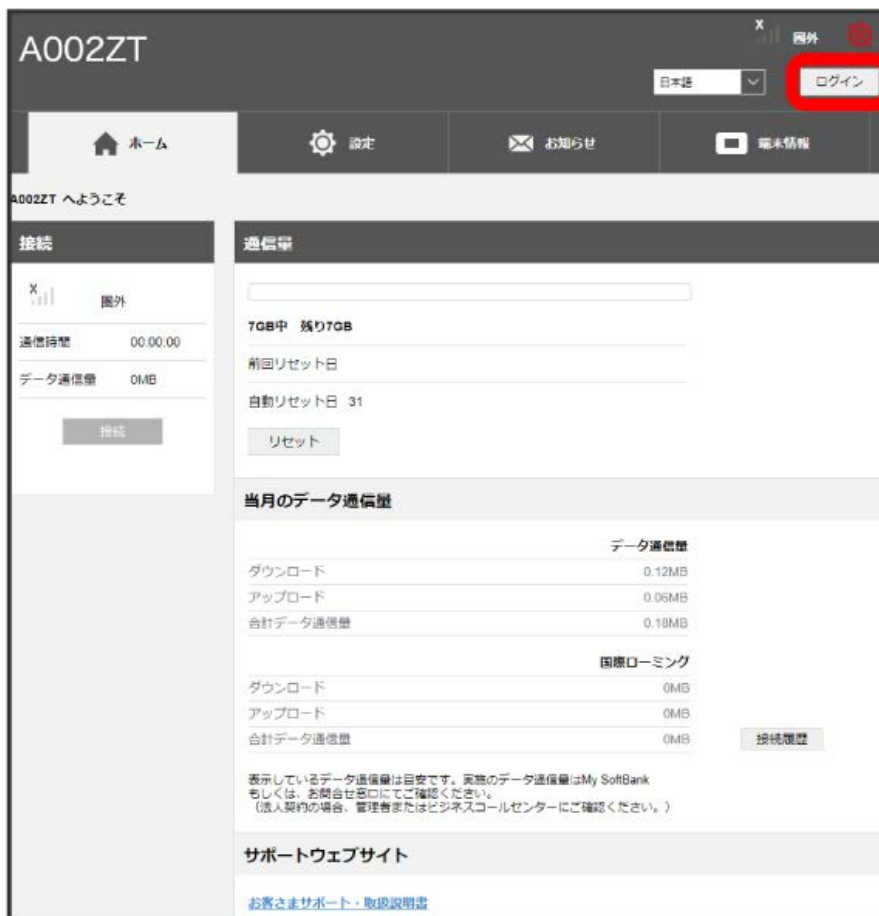
注意画面で 




 ログイン前のWEB UIの「ホーム」タブ画面が表示されます。

2

ログイン



 ログインパスワードの入力画面が表示されます。

3

パスワードを入力 → ログイン

A002ZT

日本語

ホーム 設定 お知らせ 端末情報

パスワードを入力

パスワード

☐ パスワードを表示

ログイン

[お客様サポート・取扱説明書](#)

🚩 PINコード入力画面が表示されます。

4

4～8桁のPINコードを入力 → 適応

A002ZT

日本語

ホーム 設定 お知らせ 端末情報

PINコードを入力

PINコード

残りの試行可能回数: 3回

適応

🚩 ログインしたWEB UIの「ホーム」タブ画面が表示されます。

PINコードを変更する

PINコードは、必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。PINコードの変更は、PIN認証が有効に設定されているときにできます。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク → USIMカード



2


「PIN認証/変更」の PINコードを変更



🚩 PINコードを変更するコード入力欄が表示されます。

各項目を設定 → 保存

The screenshot shows the 'A002ZT' mobile app interface. At the top, there's a status bar with 'SoftBank 4G' and a globe icon. Below it, a navigation bar has 'ホーム' (Home), '設定' (Settings), 'お知らせ' (Notifications), and '端末情報' (Device Info). The '設定' (Settings) menu is open, showing options like 'データ通信量設定', 'モバイルネットワーク', 'ネットワーク設定', '接続管理', 'APN', 'USIMカード', and '端末設定'. The 'USIMカード' option is selected. The main content area is titled 'USIMカード' and contains instructions: '端末内にセットされているUSIMカードはPINコードにてロックされている場合があります。PINコードがロックされている際は、PINコードを入力しインターネットに接続してください。' (The USIM card installed in the device may be locked with a PIN code. If the PIN code is locked, please enter the PIN code to connect to the Internet). Below this, it shows 'USIMカードのステータス' (USIM card status) as '有効' (Valid). There's a 'PIN認証/変更' (PIN authentication/change) section with a dropdown menu set to 'PINコードを変更' (Change PIN code). Three input fields are present: '現在のPINコード*' (Current PIN code*), '新しいPINコード*' (New PIN code*), and '新しいPINコード (再入力)*' (New PIN code (re-enter)*). These fields are highlighted with a red rectangle. Below the fields, it says '繰り返しの試行可能回数：3回' (Maximum number of retry attempts: 3 times). At the bottom right, there are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons, with the '保存' button highlighted by a red circle.

 PINコードが変更されます。

端末設定

本機の情報を確認したり、WEB UIのログインパスワードを変更できます。
また、ソフトウェアの更新を設定します。
ソフトウェア更新の自動更新をONにすると、定期的にアップデートを確認して、新しいソフトウェアが見つかったら、自動的に更新します。OFFにすると、アップデートは確認しますが、自動でダウンロードは行いません。

端末設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
Web UIパスワード	WEB UIのログイン時に入力するパスワードを変更できます。 詳しくは、「 WEB UIのログインパスワードを変更する 」を参照してください。
ソフトウェア更新	ソフトウェアの更新に関する設定ができます。 詳しくは、「 ソフトウェアの自動更新を設定する 」「 ソフトウェアを更新する 」を参照してください。
接続履歴	接続履歴を表示／管理できます。 詳しくは、「 接続履歴を表示／管理する 」を参照してください。
LAN IPアドレス設定	本機と接続したパソコンにIPアドレスを割り当てる機能を設定します。 詳しくは、「 LAN (DHCP) を設定する 」を参照してください。
NATタイマー	TCPセッション確立後、通信をしていない状態でセッションを保持できる時間、通信をしていない状態でUDPステート管理を保持できる時間を設定できます。 詳しくは、「 NATタイマーを設定する 」を参照してください。
ファイアウォール	ファイアウォール機能に関する詳細設定を行います。 詳しくは、「 ファイアウォールを設定する 」を参照してください。
DMZ設定	LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。 詳しくは、「 DMZを設定する 」を参照してください。
ドメインフィルタ	本機と接続したパソコンが特定のウェブサイトアクセスすることを制限するためにフィルタ設定を行います。 詳しくは、「 ドメイン名フィルタを設定する 」「 ドメイン名フィルタを解除する 」を参照してください。
カスタム	UPnPや圏外通知、SPI、ブラウザ自動起動に関する設定ができます。 詳しくは、「 UPnPを設定する 」「 圏外通知を設定する 」「 SPIを設定する 」「 ブラウザ自動起動を設定する 」を参照してください。
オールリセット	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 詳しくは、「 本機をリセットする 」を参照してください。

WEB UIのログインパスワードを変更する

WEB UIのログイン時に入力するパスワードを変更できます。

- ・ログインパスワードは、次の文字を使用して4文字以上32文字以内で入力してください。
 - ・半角数字：0～9
 - ・半角アルファベット：a～z、A～Z
 - ・半角記号：!#\$%+,-.%:=?@[^_`{|}~
- ・セキュリティ保護のため、ログインパスワードは定期的に変更することをおすすめします。
- ・ログインパスワードを設定する際は、安全レベルがより高くなるものに設定してください。
- ・ログインパスワードを忘れた場合には端末のリセットが必要です。

1

「設定」タブ → 端末設定 → Web UIパスワード



2

現在のパスワードを入力 → 新しいパスワードを入力 → 新しいパスワードを再入力 → 保存



🚩 新しいパスワードが設定され、WEB UIホーム画面に戻ります。

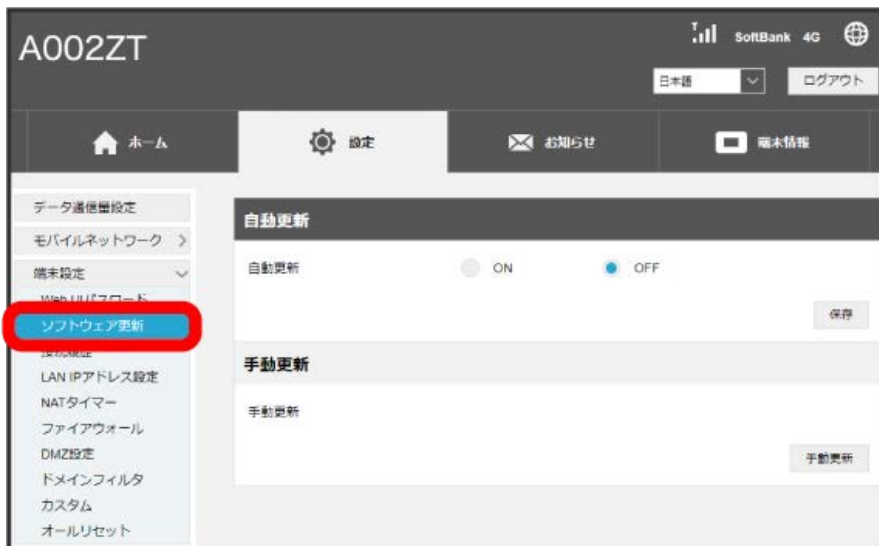
ソフトウェアの自動更新を設定する

ソフトウェアの更新に関する設定を行います。

自動更新をONにすると、ソフトウェアを自動的に更新します。OFFにすると、新しいソフトウェアがあるかどうかは確認しますが、自動的に更新されません。

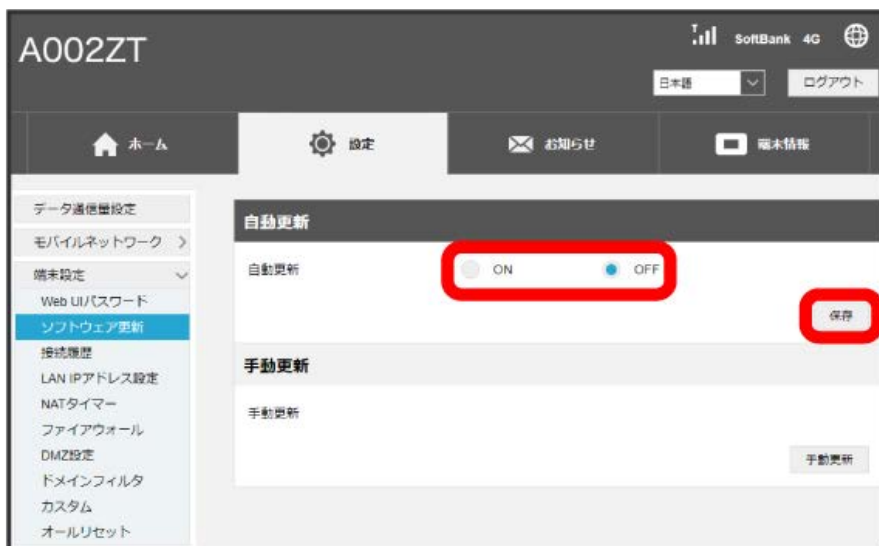
1

「設定」タブ ➡ 端末設定 ➡ ソフトウェア更新



2

ON / OFF ➡ 保存

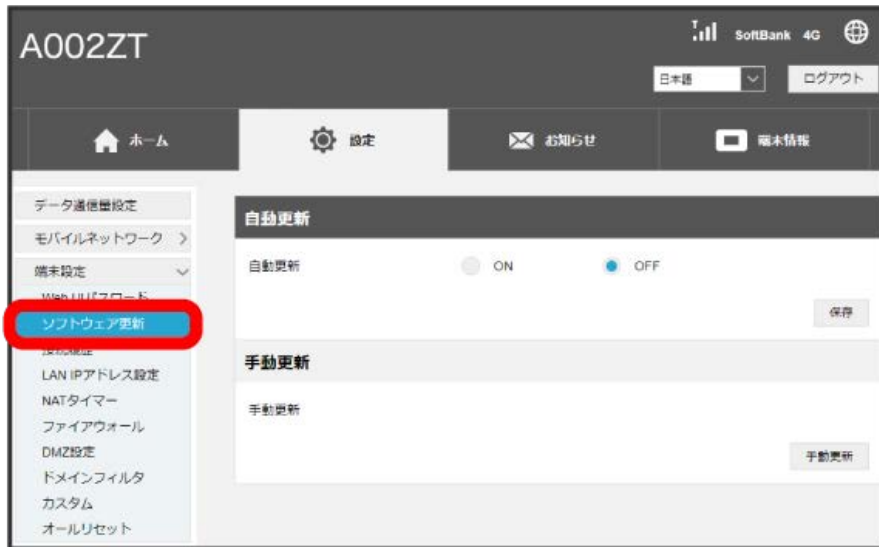


🚩 ソフトウェア自動更新機能のON/OFFが切り替わります。

ソフトウェアを更新する

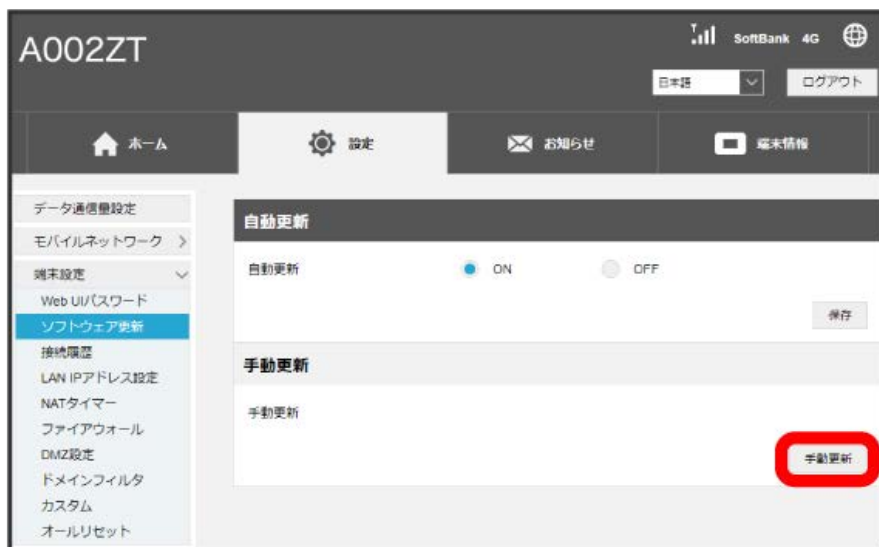
1

「設定」タブ → 端末設定 → ソフトウェア更新



2

手動更新



各種機能を設定する (WEB UIを使用する)

最新ソフトウェアを確認します。最新のソフトウェアがある場合はソフトウェアが更新されます。

- ・ 確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。
- ・ 使用中のソフトウェアが最新の場合は、「お使いのソフトウェアは最新です。」と表示されます。

💡 ソフトウェアの更新について

ソフトウェア更新にパケット通信料はかかりません。
ソフトウェア更新中は、他の機能は利用できません。

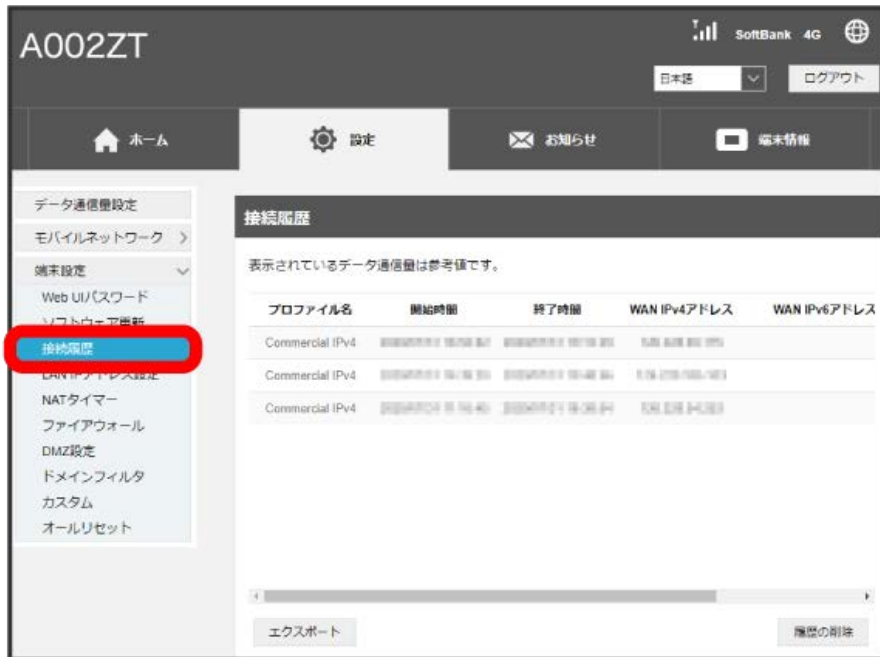
接続履歴を表示／管理する

接続履歴を表示／管理できます。履歴には接続時のプロファイル名、開始／終了時間、アップロード／ダウンロードのデータ通信量などが表示されます。

なお、本機能でカウントするデータ量はご契約されるプランに関係なく、端末側の目安でのデータ量となり実際のデータ量とは異なりますので、ご注意ください。

1

「設定」タブ → 端末設定 → 接続履歴



🚩 接続履歴の一覧が表示されます。

+ 接続履歴を編集する

履歴の削除 をクリックすると、表示されている履歴を全件削除します。

エクスポート をクリックすると、履歴をテキストファイルでパソコンにダウンロードして保存できます。

LAN (DHCP) を設定する

本機と接続したパソコンにIPアドレスを割り当てる機能を設定します。
ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
IPアドレス	本機のプライベートIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
VPNパススルー	LAN内のプライベートIPアドレスを持ったVPNクライアントのパケットをインターネット側に通過させるかどうかを設定します。
DHCPサーバー	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。
DHCP IPプール	本機と接続したパソコンに割り当てる最小と最大のIPアドレスを設定します。
DHCPリース時間	IPアドレスのリース時間を設定します。

1

「設定」タブ → 端末設定 → LAN IPアドレス設定



各項目を設定 ➡ 保存

A002ZT

SoftBank 4G

日本語 ログアウト

ホーム 設定 お知らせ 端末情報

データ通信量設定
モバイルネットワーク >
端末設定
Web UI/パスワード
ソフトウェア更新
接続履歴
LAN IPアドレス設定
NATタイマー
ファイアウォール
DMZ設定
ドメインフィルタ
カスタム
オールリセット

LAN IPアドレス設定

DHCPサーバーを無効にすると、接続されている端末にStatic IPを設定する必要があります。

IPアドレス * 192.168.0.1

サブネットマスク * 255.255.255.0

VPN/パススルー ☒ ON ☐ OFF

DHCPサーバー ☒ ON ☐ OFF

DHCP IPプール * 192.168.0.200 - 192.168.0.250

DHCPリース時間 * 24 時間

保存

確認画面が表示されます。

はい

確認

設定を適応するには再起動が必要です。
続けますか？

いいえ はい

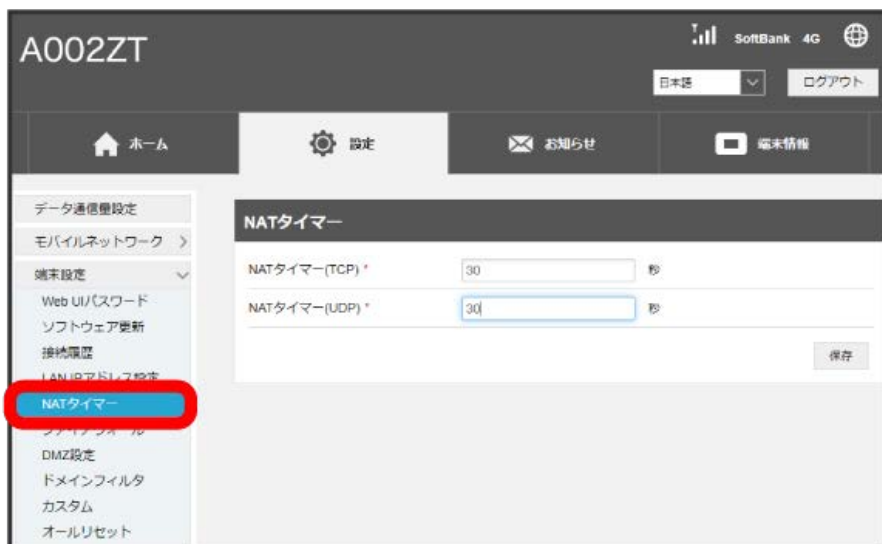
本機が再起動して、DHCPが設定されます。

NATタイマーを設定する

TCPセッション確立後、通信をしていない状態でセッションを保持できる時間、通信をしていない状態でUDPステート管理を保持できる時間を設定できます。

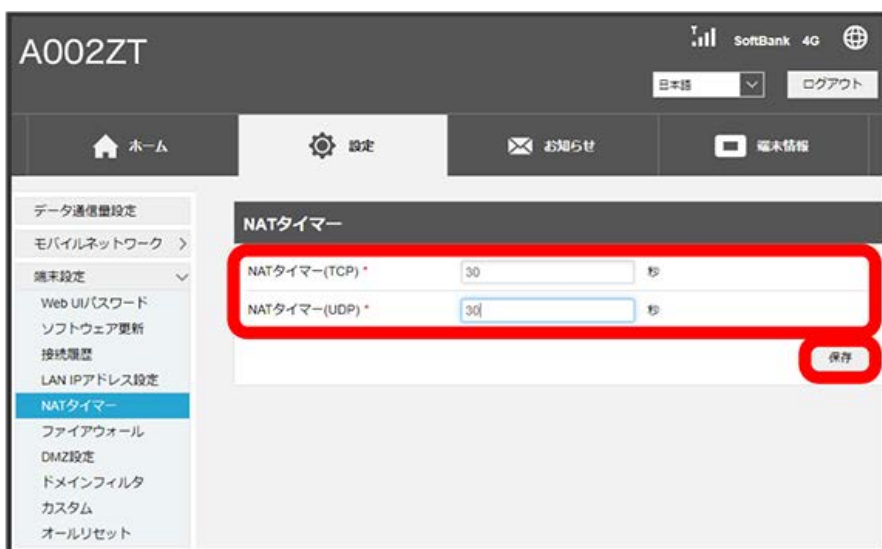
1

「設定」タブ → 端末設定 → NATタイマー



2

時間を入力 → 保存



🚩 NATタイマーの設定が保存されます。

・入力できる値は30～86400秒です。

ファイアウォールを設定する

ファイアウォール機能に関する詳細設定を行います。
ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
ファイアウォール	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。
IPアドレスフィルタリング	IPアドレスフィルタ機能を使用するかどうかを設定します。 詳しくは、「 IPアドレスやポートのフィルタリングを設定する 」「 IPアドレスやポートのフィルタリングを解除する 」を参照してください。
リスト種別	作成するフィルタリングのリスト種別を選択します。IPアドレスフィルタリングをONにしているときに表示されます。 詳しくは、「 IPアドレスやポートのフィルタリングを設定する 」を参照してください。
ポートマッピング	ポートマッピング機能を使用するかどうかを設定します。 詳しくは、「 ポートマッピングを設定する 」「 ポートマッピングを解除する 」を参照してください。
WAN側のPING応答	WAN側のPING応答機能を使用するかどうかを設定します。 詳しくは、「 WAN側のPING応答を設定する 」を参照してください。

1

「設定」タブ → 端末設定 → ファイアウォール



「ファイアウォール」の ON → 保存



🚩 ファイアウォールがONになり、IPアドレスフィルタリングとポートマッピング、WAN側のPING応答が設定できるようになります。

- ・ファイアウォールをONにしても、IPアドレスフィルタリングやポートマッピング、WAN側のPING応答は一括でONにはなりません。
- ・ファイアウォールをOFFにした場合、IPアドレスフィルタリングやポートマッピング、WAN側のPING応答をONに設定していても無効になります。

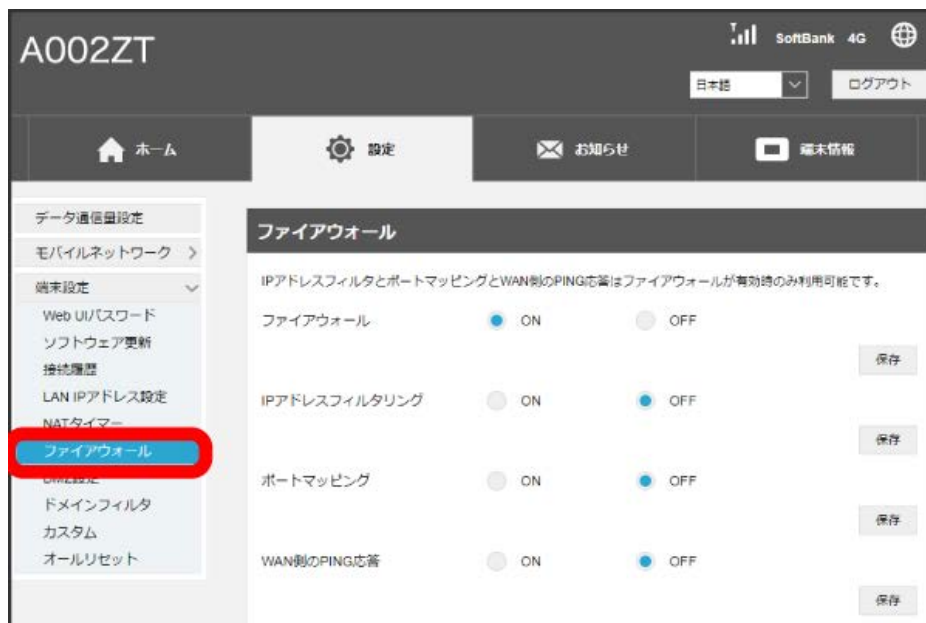
IPアドレスやポートのフィルタリングを設定する

設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスからファイアウォールを通過させるか判断します。
ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
送信元IPアドレス	ルールを適用する送信元端末のIPアドレスを設定します。 IPアドレスは、LAN側で使用しているIPアドレスの範囲内で指定します。ワイルドカードでの入力ができます。「any」、空白では設定できません。
送信元ポート範囲	ルールを適用する送信元端末のポート番号を設定します。 プロトコルを TCP / UDP に設定しているとき、最小値と最大値を指定できます。 ポート範囲に空白は設定できません。
送信先IPアドレス	ルールを適用する送信先端末のIPアドレスを設定します。 IPアドレスは、ワイルドカードでの入力ができます。「any」、空白は設定できません。
送信先ポート範囲	ルールを適用する送信先端末のポート番号を設定します。 プロトコルを TCP / UDP に設定しているとき、最小値と最大値を指定できます。 ポート範囲に空白は設定できません。
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。
IP設定	IPv4 / IPv6を設定します。
オプション	ルールを登録したり、編集や削除したりします。

1

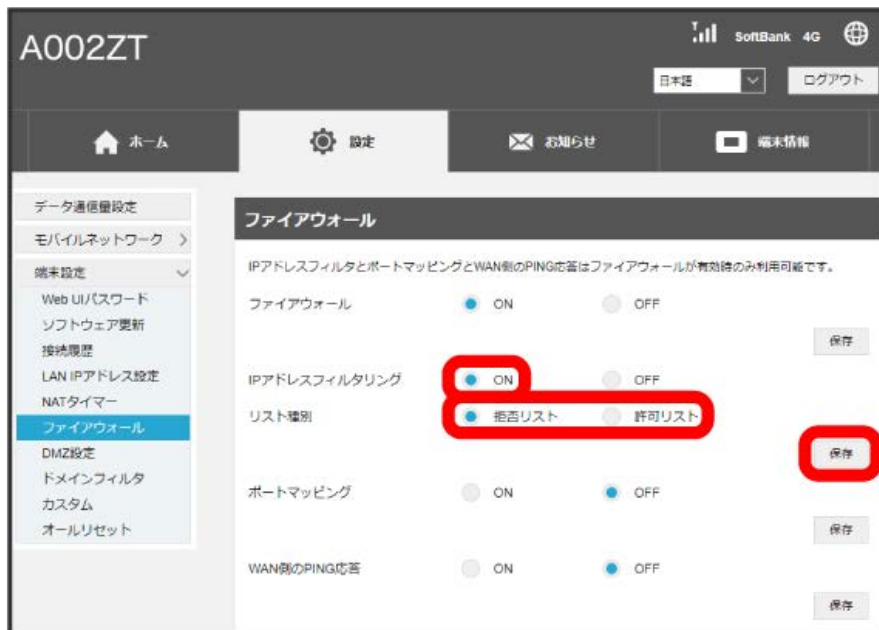
「設定」タブ → 端末設定 → ファイアウォール



・「[ファイアウォールを設定する](#)」を参照し、ファイアウォールをONにしてから操作してください。

2

「IPアドレスフィルタリング」の **ON** → **拒否リスト** / **許可リスト** → **保存**



- ・ **ON** を選択して、作成するフィルタリングのリスト種別を選択します。



フィルタリングするルールの設定項目一覧が表示されます。

各項目を入力 ➡ 保存



設定したルールが保存され、フィルタリングが設定されます。

- ・IPv6アドレスを設定する場合は、IPアドレスの末尾にプレフィックスを入力する必要があります。
- ・リスト種別が「許可リスト」の場合、ステータスを **接続しない** に設定すると、設定したIPアドレスがフィルタリングされ、接続が拒否されます。
接続する に設定すると接続は許可されます。設定していないIPアドレスはフィルタリングされ、接続は拒否されます。
- ・リスト種別が「拒否リスト」の場合、ステータスを **接続する** に設定すると、設定したIPアドレスはフィルタリングされず、接続が許可されます。
フィルタリングを解除するのではなく、一時的に無効にしたいときに利用します。**接続しない** に設定すると接続は拒否されます。設定していないIPアドレスはフィルタリングされず、接続が許可されます。

IPアドレスやポートのフィルタリングを解除する

1

「設定」タブ → 端末設定 → ファイアウォール



2

IPアドレスフィルタリングのリストで 削除



各種機能を設定する (WEB UIを使用する)

はい



🚩 削除されます。

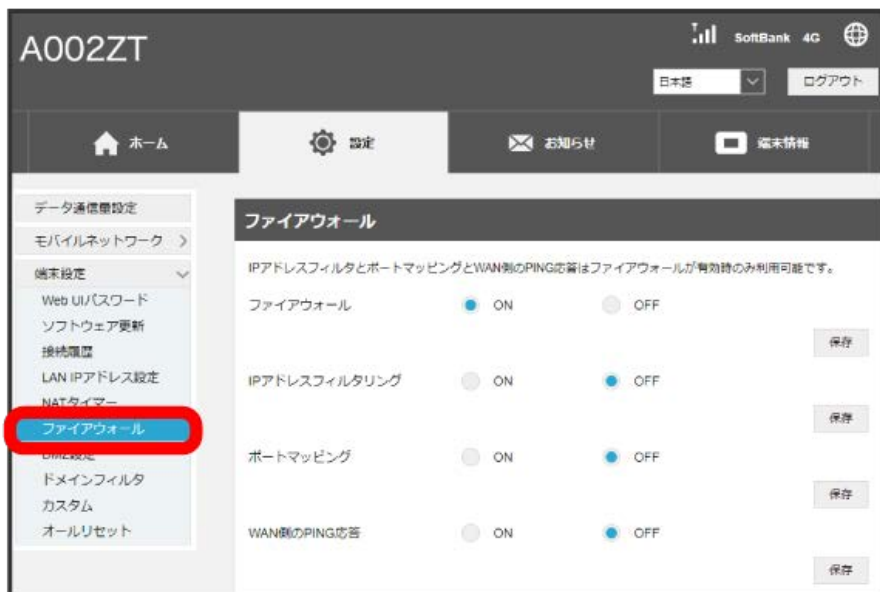
ポートマッピングを設定する

インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるように仮想サーバーを設定します。
ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
名前	仮想サーバーの名前を設定します。
送信元ポート	送信元ポート番号を設定します。 ポート番号に空白や範囲指定は設定できません。
送信先IPアドレス	サーバーとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。 IPアドレスは、LAN側で使用しているIPアドレスの範囲内で指定します。空白、ワイルドカード、範囲指定は設定できません。
送信先ポート	サーバーとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送する際の送信先ポート番号を設定します。 ポート番号に空白や範囲指定は設定できません。
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。
オプション	ルールを登録したり、編集や削除したりします。

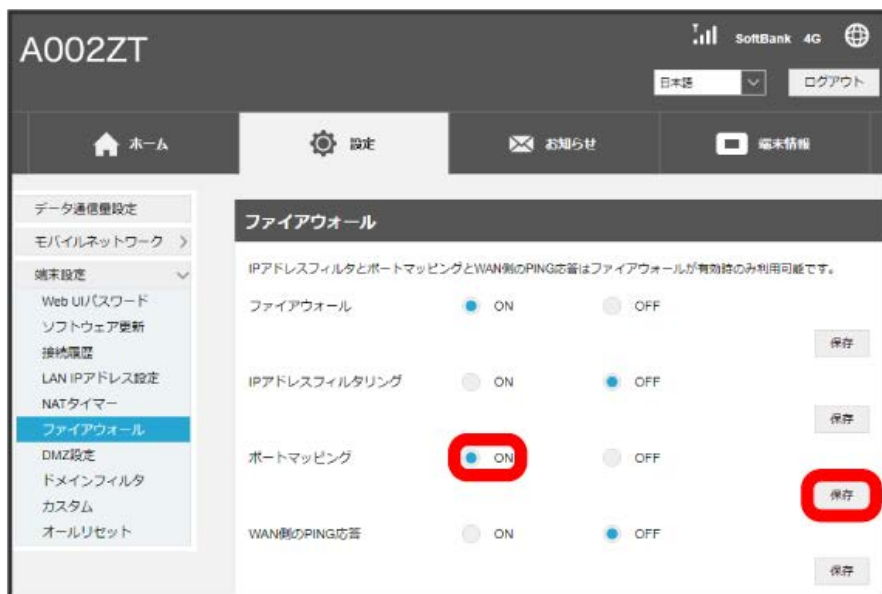
1

「設定」タブ → 端末設定 → ファイアウォール

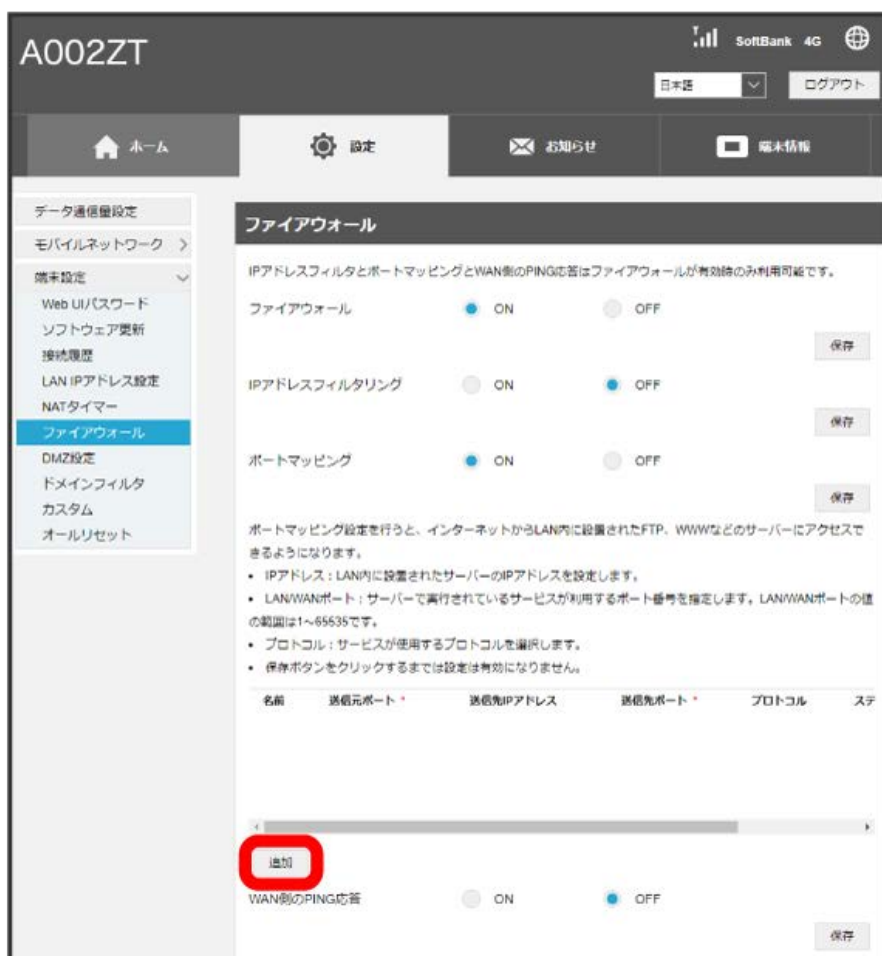


- ・「[ファイアウォールを設定する](#)」を参照し、ファイアウォールをONにしてから操作してください。

「ポートマッピング」の **ON** → **保存**



追加



4

各項目を入力 → 保存

ポートマッピング設定を行うと、インターネットからLAN内に設置されたFTP、WWWなどのサーバーにアクセスできるようになります。

- IPアドレス：LAN内に設置されたサーバーのIPアドレスを設定します。
- LAN/WANポート：サーバーで実行されているサービスが利用するポート番号を指定します。LAN/WANポートの値の範囲は1～65535です。
- プロトコル：サービスが使用するプロトコルを選択します。
- 保存ボタンをクリックするまでは設定は有効になりません。

名前	送信元ポート	送信先IPアドレス	送信先ポート	プロトコル	ステータス	オプション
	3		4	TCP+UDP	OFF	<div>保存</div> <div>キャンセル</div>

設定したルールが保存され、ポートマッピングが設定されます。

- ステータスを **ON** にすると、設定した内容はポートマッピングの対象になります。ステータスを **OFF** にすると対象外になります。

ポートマッピングを解除する

1

「設定」タブ ➡ 端末設定 ➡ ファイアウォール



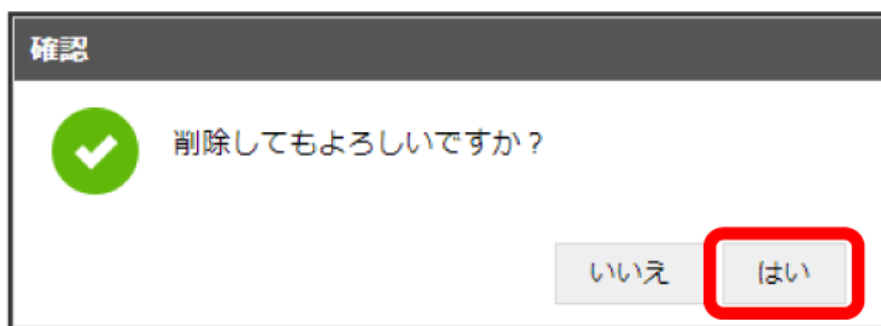
2

ポートマッピングのリストで 削除



3

はい



 設定が削除されます。

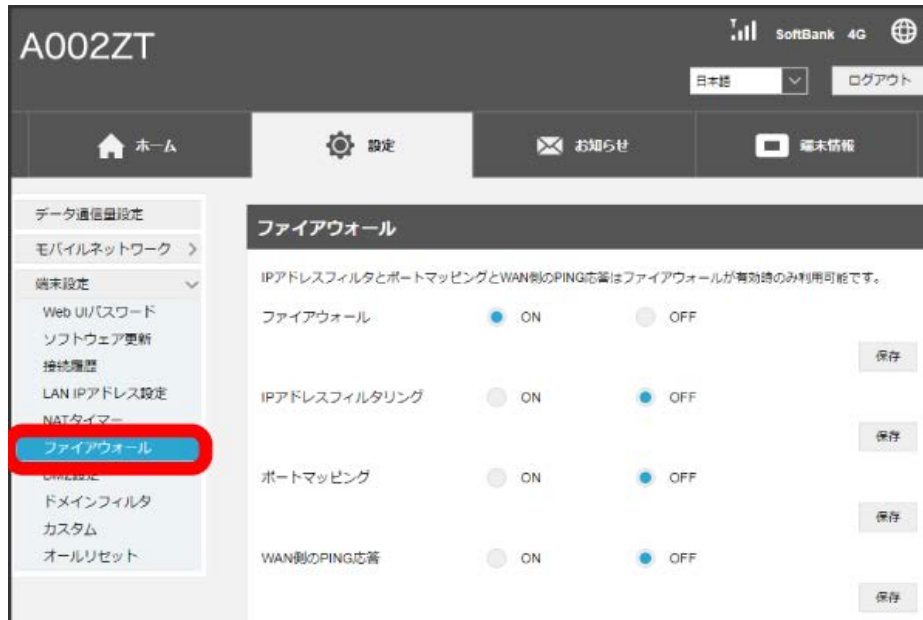
WAN側のPING応答を設定する

WAN側からのPINGに対応するかどうかを設定します。

ネットワーク環境によってはPINGを遮断している場合がありますのでご注意ください。

1

「設定」タブ → 端末設定 → ファイアウォール



・「[ファイアウォールを設定する](#)」を参照し、ファイアウォールをONにしてから操作してください。

2

「WAN側のPING応答」の ON → 保存



🚩 WAN側からのPING応答がONになります。

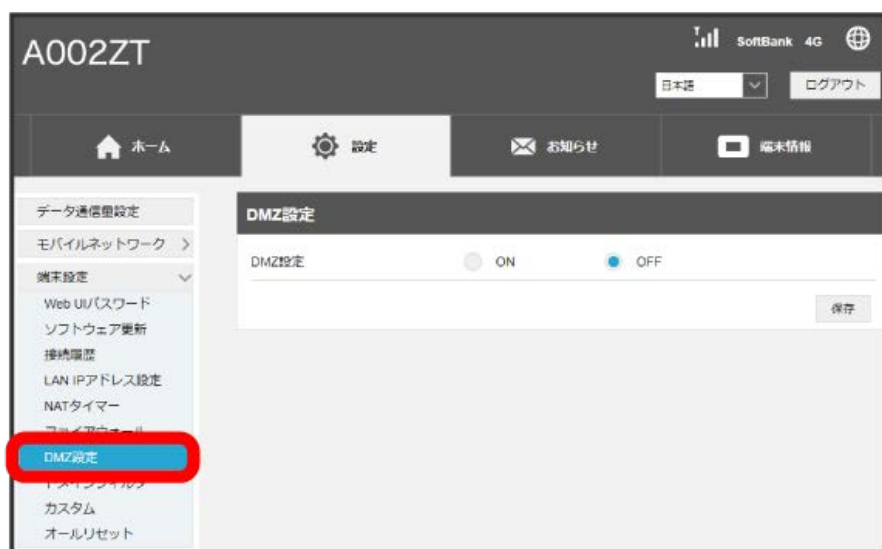
DMZを設定する

LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定することができます。
ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
DMZ設定	DMZホストを設定するかどうかを選択します。
IPアドレス	DMZホストのIPアドレスを設定します。

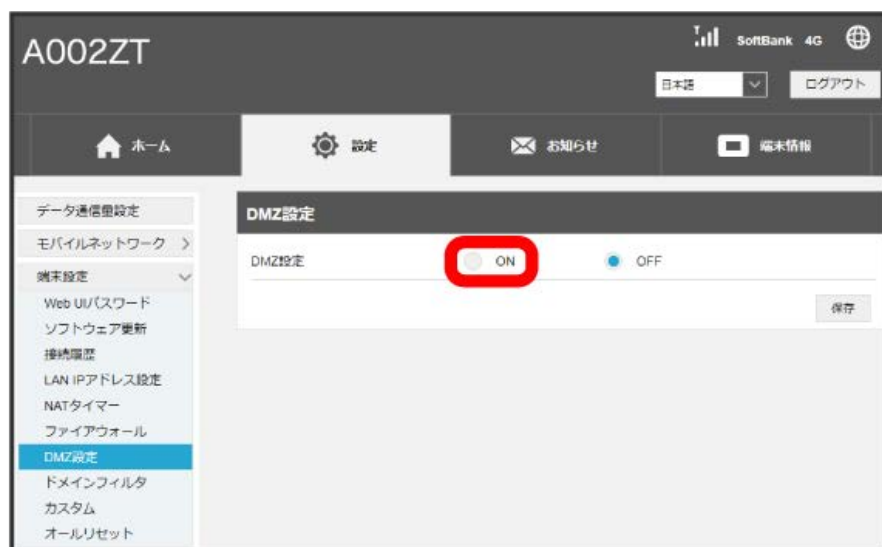
1

「設定」タブ → 端末設定 → DMZ設定



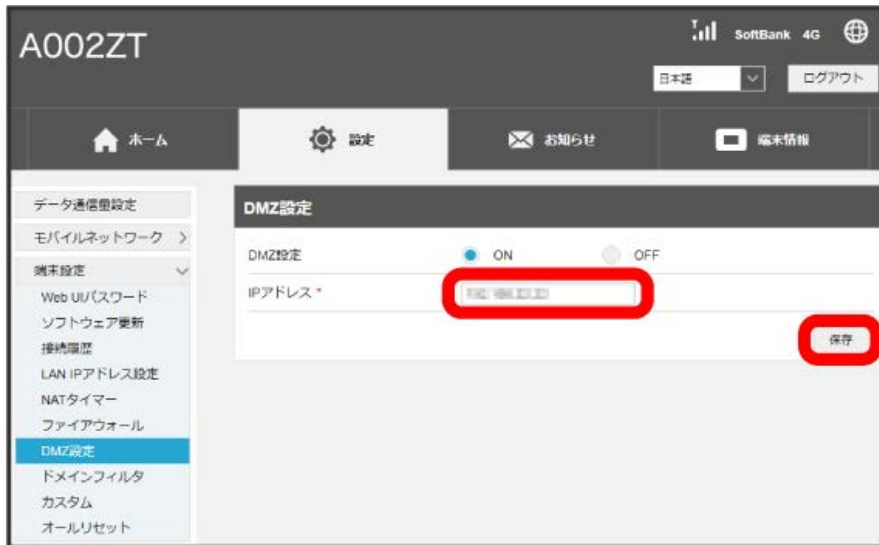
2

ON



各種機能を設定する (WEB UIを使用する)

IPアドレスを入力 → 保存



🚩 DMZホストの設定が適用されます。

ドメイン名フィルタを設定する

本機と接続したパソコンが特定のウェブサイトアクセスすることを制限するためにフィルタ設定を行います。

1

「設定」タブ → 端末設定 → ドメインフィルタ

**2**

ON → 保存



各種機能を設定する (WEB UIを使用する)

「フィルタリングモード」の **拒否** / **許可**



追加



各項目を入力 → 保存



ドメイン名フィルタの設定が完了します。

- ・フィルタリングモードで **拒否** を選択した場合は、アクセスさせたくないウェブサイトをフィルタリストに設定します。 **許可** を選択した場合は、アクセスを許可するウェブサイトをフィルタリストに設定します。
- ・ドメイン名は、ホスト名、ドメイン名、サブドメイン名などを省略しないFQDNの形式で入力してください。
- ・ドメイン名に「http://」「ftp://」「https://」は使用できません。
- ・ワイルドカードを使用して、ドメイン名を後方一致で設定することもできます。
- ・ステータスを **ON** に設定すると、設定したドメイン名はフィルタリングの対象になります。ステータスを **OFF** に設定するとフィルタリングの対象外になります。

ドメイン名フィルタを解除する

1

「設定」タブ → 端末設定 → ドメインフィルタ



2

フィルタリストで 削除



3

はい

確認

 ドメイン名をリストから削除しますか？

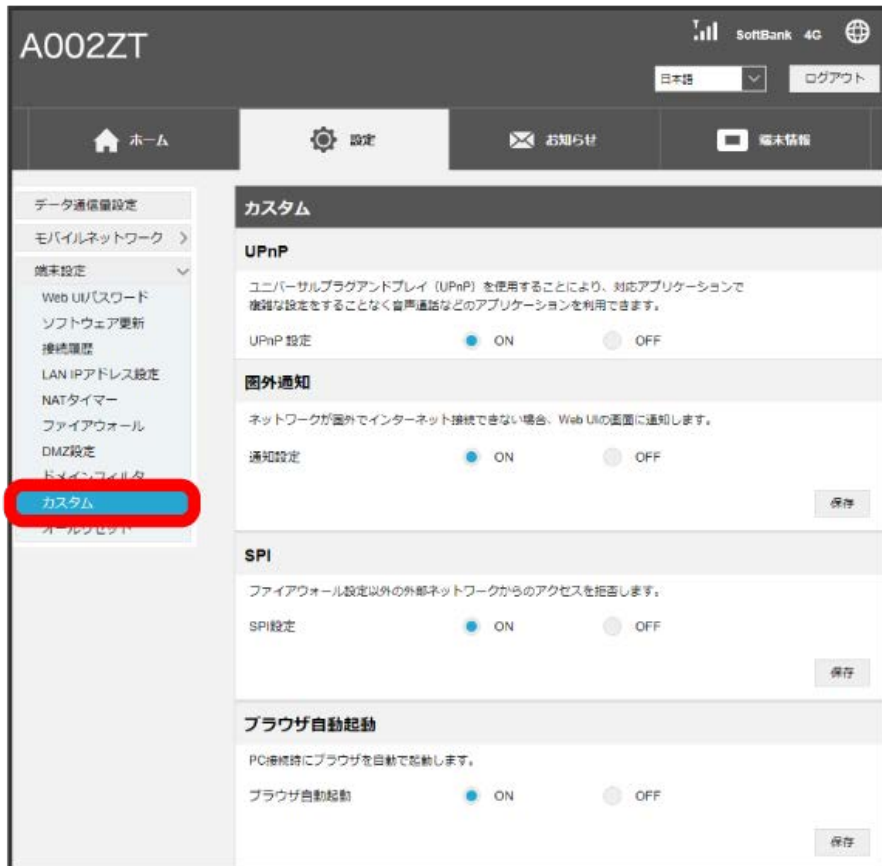
 削除されます。

UPnPを設定する

UPnP対応の周辺機器、AV機器、電化製品、またはメッセージングソフトなどのUPnP対応アプリを使用するときに設定します。

1

「設定」タブ ➡ 端末設定 ➡ カスタム



「UPnP設定」の **ON** → **保存**



🚩 UPnPが設定されます。

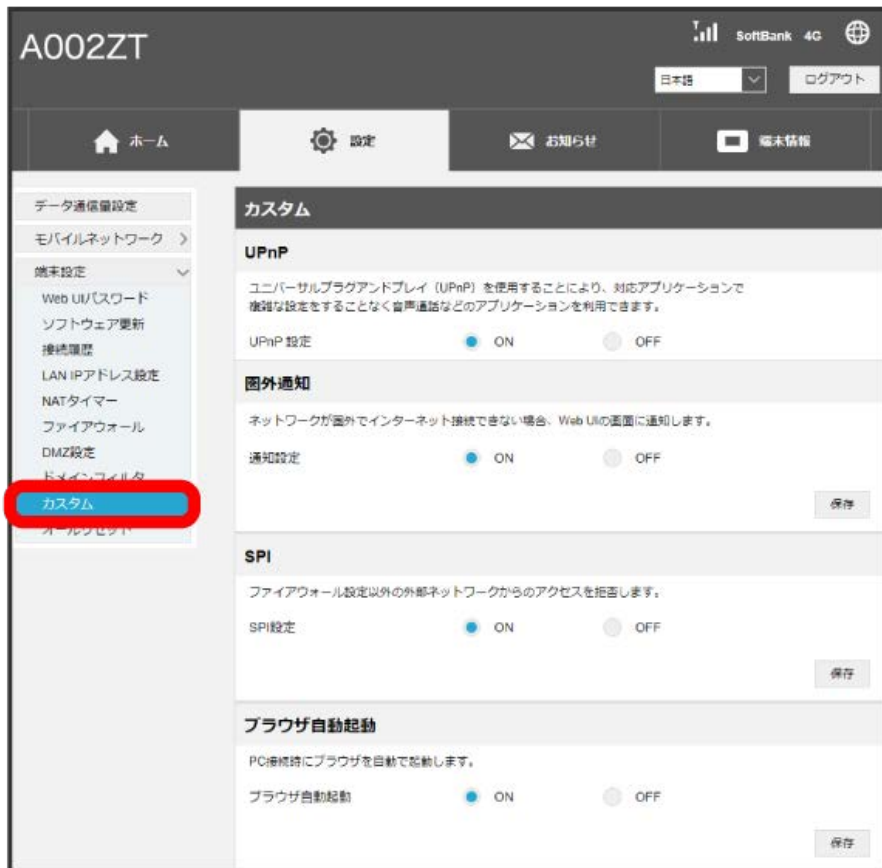
圏外通知を設定する

通信が圏外になったとき、Webブラウザに圏外であることを通知するかどうかを設定します。

- ・ONにするとパソコンなど通信を利用している端末のブラウザ画面に通信接続圏外で通信ができない旨が表示されます。

1

「設定」タブ → 端末設定 → カスタム



圏外通知の「通知設定」の ON → 保存



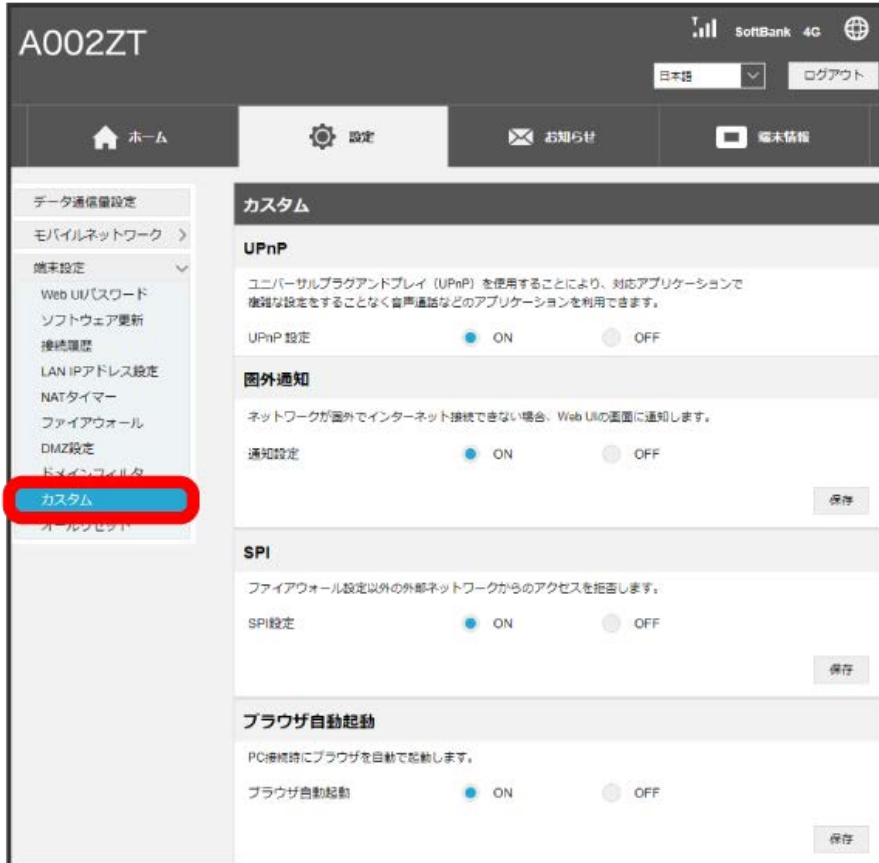
通知設定が設定されます。

SPIを設定する

ファイアウォール設定以外の外部ネットワークからのアクセスを拒否するかどうかを設定します。

1

「設定」タブ → 端末設定 → カスタム



2

SPIの「SPI設定」を **ON** ➔ **保存**



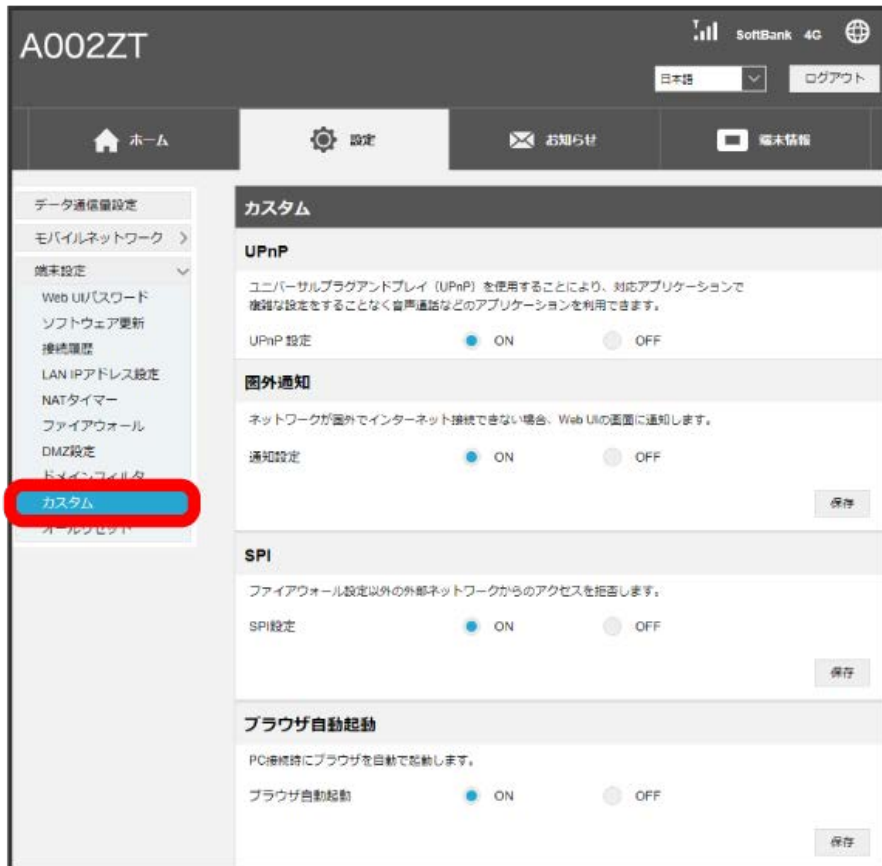
🚩 SPI設定が設定されます。

ブラウザ自動起動を設定する

PC接続時にブラウザを自動で起動するかどうかを設定します。

1

「設定」タブ → 端末設定 → カスタム



「ブラウザ自動起動」の **ON** ➔ **保存**



🚩 ブラウザ自動起動設定が設定されます。

- ・ 次の場合は、「ブラウザ自動起動」が **OFF** の場合でもブラウザが自動起動します。
 - ・ 「接続設定」が **自動** で「接続時のパスワード入力」がONの場合
 - ・ 「接続設定」が **自動** で「接続時にユーザー名とパスワードを確認する」がONの場合
 - ・ 「接続設定」が **自動** で「APN」のユーザーID/パスワードが空白の場合

本機をリセットする

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

・USIMカードの内容を除き、本体設定がすべてお買い上げ時の状態に戻りますので、ご注意ください。

1

「設定」タブ → 端末設定 → オールリセット

**2**

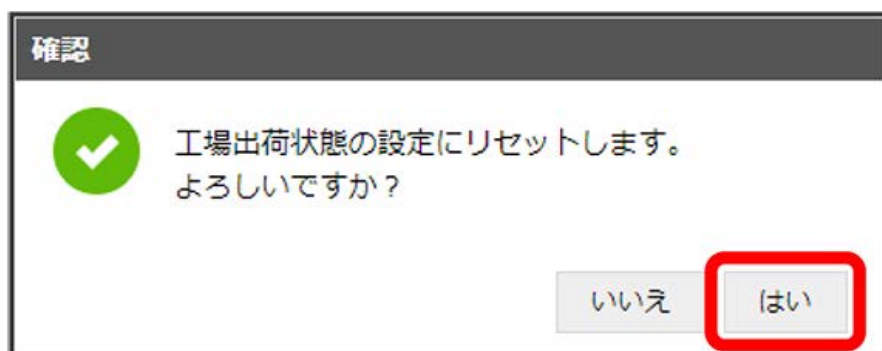
オールリセット




🚩 確認画面が表示されます。

3

はい



 本機が再起動し、お買い上げ時の設定に戻ります。

お知らせを確認する

新しいお知らせを受信した場合、WEB UIで操作中はお知らせの受信通知メッセージが表示されます。お知らせは、「お知らせ」タブから確認できます。

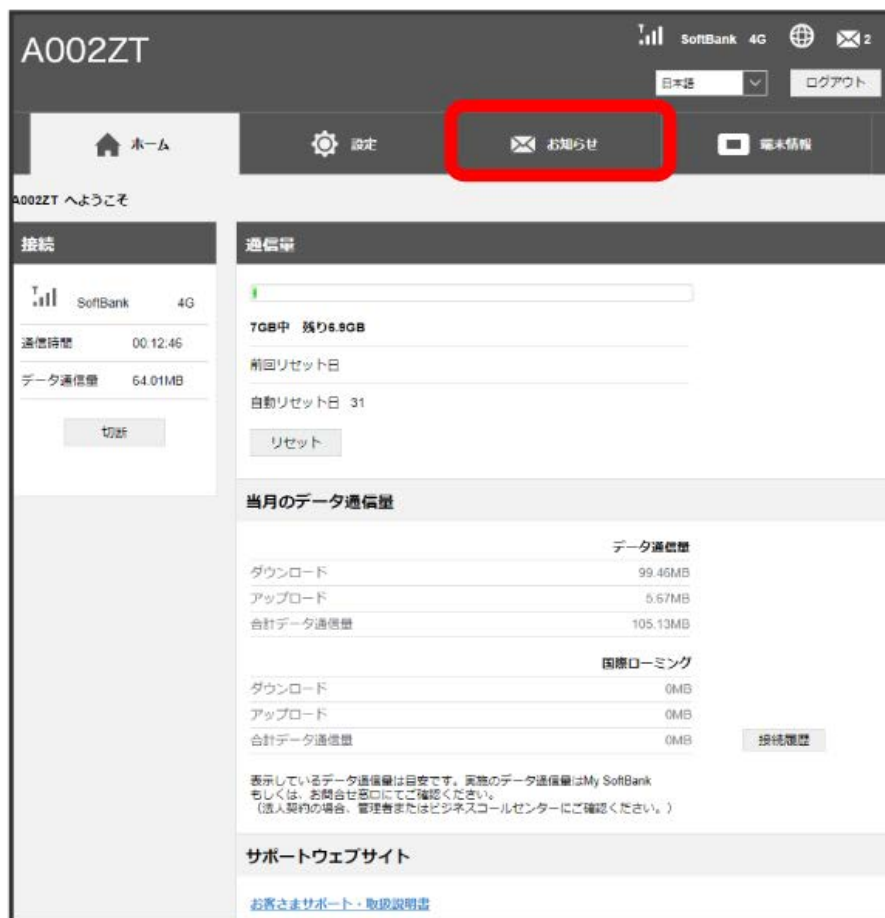
パソコンなどからインターネットに接続している場合のみ受信します。

ソフトウェアバージョンが1.0.18以降は、特定の送信元から送信されたお知らせのみ受信します。

お知らせを確認する

1

「お知らせ」タブ



2

確認するお知らせを選択

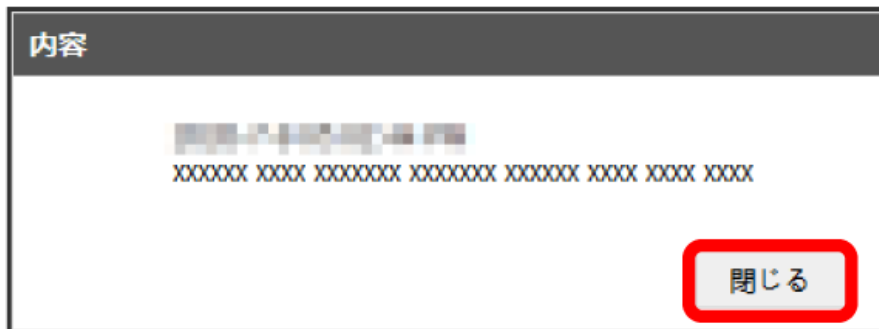


ポップアップ画面でお知らせの内容が表示されます。

・新着のお知らせの受信通知メッセージがポップアップ画面で表示された場合は、**はい** をクリックします。

3

お知らせの内容を確認 → **閉じる**

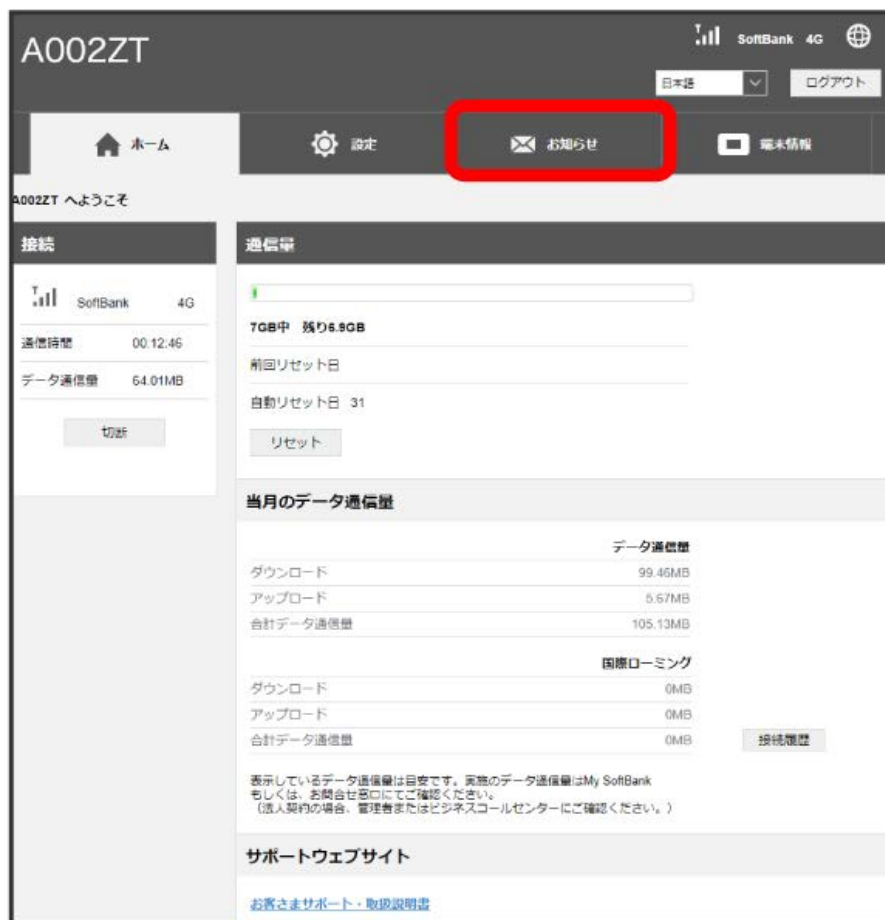


ポップアップ画面を閉じます。

お知らせを選択して削除する

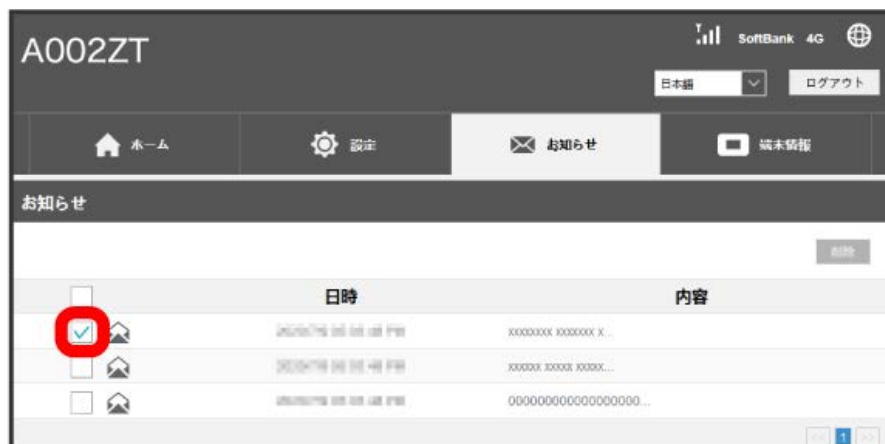
1

「お知らせ」タブ



2

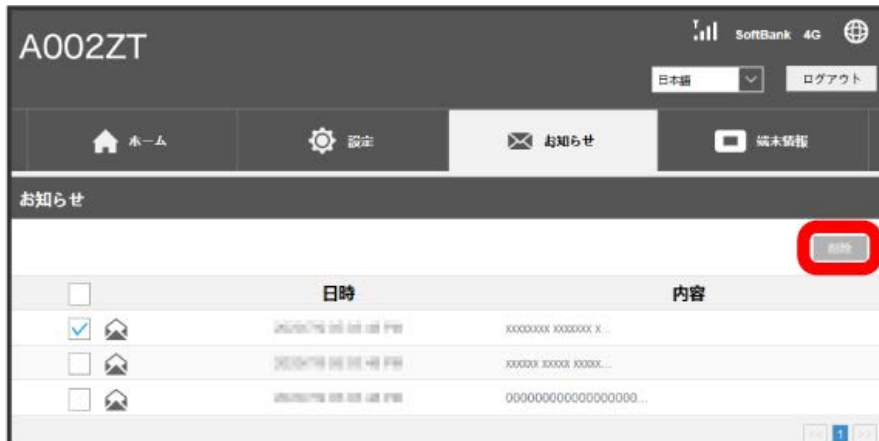
削除するお知らせにチェックを付ける



・タイトル行のチェックボックスにチェックを付けると全件を選択できます。

3

削除



4

はい



🚩 選択したお知らせが削除されます。

本機の情報を確認する

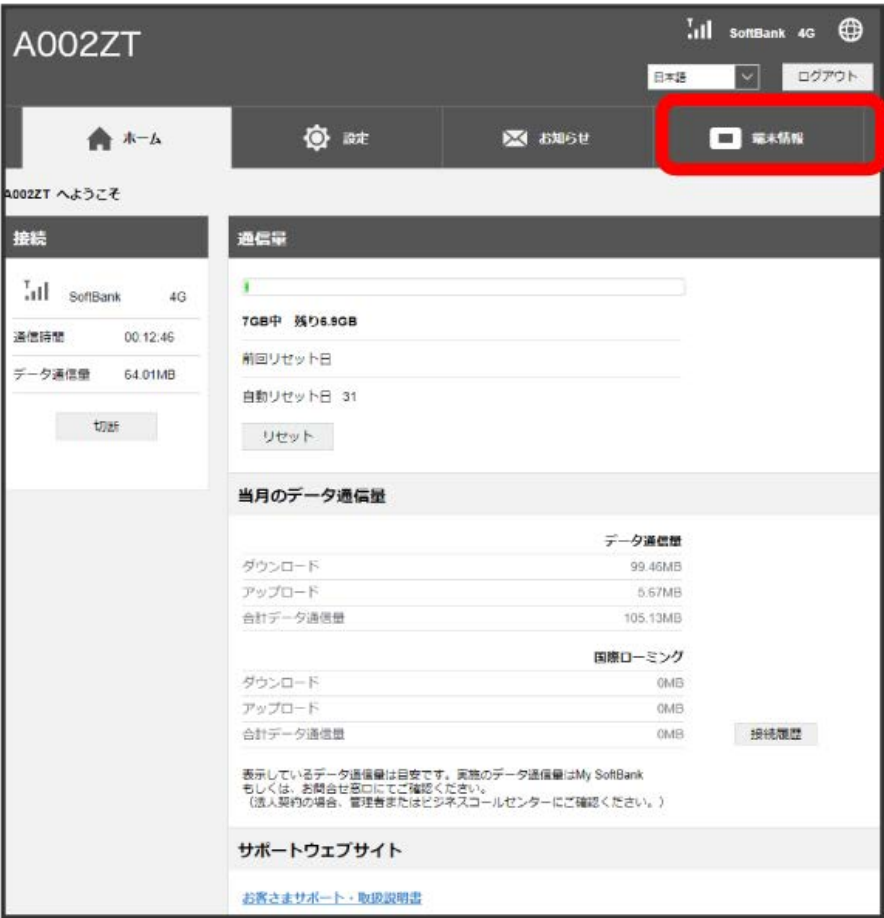
本機の情報を確認する

本機のソフトウェアバージョンなど、次の各種情報を確認できます。

項目	説明
電話番号	USIMカードに登録されている電話番号です。
現在のAPN	現在のAPNです。
IMEI	本機の製造番号です。
LANドメイン	本機のLANドメインです。
LAN IPアドレス	サーバーとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。
WAN IPv4アドレス	本機に割り当てられたIPv4アドレスです。このIPアドレスでインターネットに接続します。
WAN IPv6アドレス	本機に割り当てられたIPv6アドレスです。このIPアドレスでインターネットに接続します。IPタイプをIPv6もしくはIPv4／IPv6に設定しているAPNを使用する場合に表示されます。
ソフトウェアバージョン	現在のソフトウェアのバージョンです。
ハードウェアバージョン	ハードウェアのバージョンです。

1

「端末情報」タブ



2

項目を確認



端末情報が表示されます。

サポートウェブサイトを表示する

サポートウェブサイトを表示する

お客さまサポート、取扱説明書のサポートウェブサイトを表示します。

1

ホーム画面で **お客さまサポート・取扱説明書**

**2**

項目を選択

「お客さまサポート」 / 「取扱説明書」のウェブサイトが表示されます。

困ったときは／仕様／保証／お問い合わせ先

トラブルシューティング	108
仕様	109
本製品の比吸収率（SAR）について	111
保証とアフターサービス	114
お問い合わせ先	115

トラブルシューティング

故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、最寄りのソフトバンクショップまたは[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

? こんなときは

Q. 本機をパソコンに接続しても、パソコンが本機を認識しない (Windows 10の場合)

- A. 本機が正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。
- A. 本機をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。
- A. 次の手順で本機が正しく取り付けられていることを確認してください。

スタートメニューを右クリック → **デバイスマネージャー**

ジャー → 次の項目が表示されていることを確認する

- ・ドライバのインストール前の場合：「DVD/CD-ROMドライブ」に「ZTE USB SCSI CD-ROM USB Device」、「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」に「USB大容量記憶装置」
- ・ドライバのインストール後の場合：「ネットワークアダプター」に「Remote NDIS based Internet Sharing Device」

Q. 本機をパソコンに接続しても、ドライバが自動的にインストールされない (Windows/パソコンのみ)

- A. システムが新しいハードウェアを認識してから、インストールの準備をするまでには多少時間がかかります。約30秒お待ちください。
- A. ご利用のパソコンにセキュリティソフトがインストールされている場合、セキュリティソフトの機能を停止してインストールをお試しください。機能の停止操作について詳しくは、セキュリティソフトの取扱説明書を参照してください。
- A. 管理者権限 (Administrator) でログインしてください。
- A. 手動でインストールしてください。詳しくは、「[Windows に手動でドライバをインストールする](#)」を参照してください。

Q. 通信の接続が失敗した

- A. サービスエリア内であることを確認してください。
- A. 電波状態が良くないところであれば、電波状態の良いところへ移動して、もう一度接続してください。
- A. 最新のソフトウェアであることをご確認ください。
- A. 時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。
- A. WEB UIを起動し、ネットワーク関連の設定が正しく設定されていることを確認してください。

Q. 通信がすぐに切れる

- A. 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。
- A. 本機とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。
- A. 上記の操作を行ってもなお接続できない場合、パソコンを再起動し、もう一度接続してください。

Q. 通信速度が遅く感じる

- A. 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。
- A. 回線の状態が良くないことがあります。時間を置いて再度試してください。
- A. 本機の状態によって通信が安定しない場合があります。本機のUSBプラグを回転させて、電波状態が安定する角度に調整してください。

Q. PINコードを忘れた/ PINロック解除コード (PUKコード) を知らない/ USIMカードが完全ロック状態である

- A. [お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

Q. USIMカードが認識されない/ USIMカードが無効と表示される

- A. USIMカードが正しく取り付けられているかどうかをご確認ください。詳しくは、「[USIMカードを取り付ける](#)」を参照してください。
- A. USIMカードが変形していないことを確認してください。
- A. USIMカードのIC部分にキズや腐食がないことを確認してください。
- A. USIMカード (特にIC部分) が汚れると認識できない場合もありますので、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- A. 本機専用のUSIMカードを利用しているか確認してください。
- A. 上記をすべて確認お試しいただいても改善しない場合は、[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

Q. 管理者権限 (Administrator) でログインしているのかわからない

- A. Windows 10の場合は、次の手順で確認してください。
- スタートメニューから **Windows システムツール** → **コントロール パネル** → **ユーザー アカウント** → 現在ログインしているアカウントの種類が「Administrator」であることを確認する
- A. Mac OS X (10.14) の場合は、次の手順で確認してください。
- アップルメニューから **システム環境設定** → **ユーザとグループ** → 現在ログインしているアカウントの種類が「管理者」であることを確認する

Q. 本機の設定をお買い上げ時の状態に戻したい (リセット)

- A. WEB UIを使用してリセットすることができます。詳しくは、「[本機をリセットする](#)」を参照してください。

Q. WEB UIに解約した電話番号が表示される

A. お客様のご契約内容や解約方法によって、解約後もWEB UI画面に電話番号が表示されることがあります。

Q. 本機の動作が不安定

A. 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所などで使用されていませんか。「お願いとご注意」をご確認の上、適切な環境でご使用ください。

Q. 音声チャットやビデオチャットの接続が失敗する

A. サービスエリア内であることを確認してください。

A. 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。

A. ご使用のアプリが、UPnP対応の場合、UPnPをONにしてください。

WEB UIを起動し、 **設定** → **端末設定** → **カスタム**
 → 「UPnP」の「UPnP設定」を **ON** → **保存**

仕様

本体

項目	説明
製品名	A002ZT
外形寸法	約34mm (H) ×約96mm (W) ×約14mm (D)
質量	約47g
インターフェイス	USB 2.0
消費電力	待受時：180mW 通信時：3.3W ※使用状況により消費電力は変化します。
環境条件	動作温度範囲：0～35℃ 動作湿度範囲：5%～95%
通信方式	国内利用時 TDD-LTE (AXGP含む)：3.5GHz, 2.5GHz FDD-LTE：2.1GHz, 1.7GHz, 1.5GHz, 900MHz, 700MHz 3G：2.1GHz, 900MHz 海外利用時 TDD-LTE (AXGP含む)：3.5GHz, 2.5GHz FDD-LTE：2.1GHz, 1.9GHz, 1.7GHz, 2.1GHz/1.7GHz (AWS), 900MHz, 700MHz 3G：2.1GHz, 1.9GHz, 2.1GHz/1.7GHz (AWS), 850M, 900MHz

対応周波数	TDD-LTE（AXGP含む）：
	B41：上り：2496~2690MHz、下り：2496~2690MHz
	B42：上り：3400~3600MHz、下り：3400~3600MHz
	FDD-LTE：
	B1 上り：1920~1980MHz、下り：2110~2170MHz
	B2 上り：1850~1910MHz、下り：1930~1990MHz
	B3 上り：1710~1785MHz、下り：1805~1880MHz
	B4 上り：1710~1755MHz、下り：2110~2155MHz
	B8 上り：880~915MHz、下り：925~960MHz
	B11 上り：1427~1448MHz、下り：1475~1496MHz
	B12 上り：698~716MHz、下り：728~746MHz
	B17 上り：704~716MHz、下り：734~746MHz
	B28 上り：703~748MHz、下り：758~803MHz
	3G：
	B1 上り：1920~1980MHz、下り：2110~2170MHz
	B2 上り：1850~1910MHz、下り：1930~1990MHz
	B4 上り：1710~1755MHz、下り：2110~2155MHz
	B5 上り：821~849MHz、下り：869~894MHz
	B8 上り：880~915MHz、下り：925~960MHz

USB延長ケーブル（オプション品）

項目	説明
製品名	USB延長ケーブル（ZEDAY1）
ケーブルの長さ	20cm
使用プラグ	標準USBプラグ

使用材料

使用箇所	材質・表面処理
本体：外装ケース（表面／側面／裏面）、USBコネクタ回転部	PC／塗装
USIM カードスロットカバー	PC+TPU
本体：LED ステータスランプ	PMMA
本体：USB コネクタ	ステンレス鋼
本体：USIM カードスロット	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
USB延長ケーブル（オプション品）：外装	TPE
USB延長ケーブル（オプション品）：USB コネクタ	ステンレス鋼／ニッケルメッキ

本製品の比吸収率（SAR）について

本製品の比吸収率（SAR）について

この製品【A002ZT】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この製品を次に記述する所定の使用法※3で使用情况の場合のSARの最大値は1.75W/kg※2です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）に規定されています。

※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 この製品を人体の近くでご使用になる場合

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から0.5センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- ・ 総務省のホームページ
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- ・ 一般社団法人電波産業会のホームページ
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- ・ 世界保健機関
<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>
- ・ SoftBankスマートフォン各機種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら
<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この製品【A002ZT】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

この製品から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、アクセサリ等により人体より0.5センチ以上離して、その間に金属(部分)が含まれないようにして使用する場合のSARの最高値は1.756W/kgです。

米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って人体の近くでご使用になる場合は1.358W/kgです。人体の近くでご使用になる場合：この製品【A002ZT】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から0.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から0.5センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

This data communication device [A002ZT] is compliant with Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations on human exposure to radio frequency energy have established permitted levels of radio frequency energy, based on the standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value stipulated in the international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is 1.75 W/kg*** when used close to the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

**** Use close to the body

To use this product close to the body, maintain a separation of 0.5 cm with no metal (parts) between it and the body.

This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use." They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
(Japanese)
- World Health Organization
<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>
- List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model

<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body. In this case, the highest tested SAR value is 1.756 W/kg* at the separation distance of 0.5 cm from the body. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal, that position handset a minimum of the above distance. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use worn on the body in a holder or carry case, is 1.358 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 0.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 0.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID SRQ-MF993.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

EU DECLARATION OF CONFORMITY



It is hereby declared that following designated product:

Product Type: USB Modem

Model No: A002ZT, MF863

Product Description: USB Modem

Software version: BD_A002ZTV0.0.0B03

Hardware version: md8B

Complies with the essential protection requirements of Directives on Radio Equipment Directive 2014/53/EU, Restriction of the Certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment (Directive 2011/65/EU), Eco-design Requirements for Energy-Related Products (Directive 2009/125/EC) and their amendments.

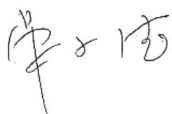
The assessments were based on the following regulations and standards:

Requirement	Standard / Report No. / Assessment Body
Health and safety	· Standard
	EN 50566: 2017
	EN 62209-2: 2010
	EN 50663:2017
Health and safety	EN 62368-1:2014+A11:2017
	· Report No.
	SET2020-05232
	SET2020-05022
Health and safety	· Assessment Body
	TIMCO Engineering, Inc.
	(Notified body 1177)
	EU-type examination certificate:1177-200047
EMC	· Standard
	ETSI EN 301 489-1 V2.2.3
	Draft ETSI EN 301 489-52 V1.1.0
	· Report No.
EMC	SET2020-05106
	· Assessment Body
	TIMCO Engineering, Inc.
	(Notified body 1177)
EMC	EU-type examination certificate:1177-200047

	・ Standard ETSI EN 301 511 V12.5.1 ETSI EN 301 908-1 V11.1.1 ETSI EN 301 908-2 V11.1.2 ETSI EN 301 908-13 V11.1.2 ・ Report No. SET2020-05082 SET2020-05083 SET2020-05084 ・ Assessment Body TIMCO Engineering, Inc. (Notified body 1177) EU-type examination certificate:1177-200047
Radio Spectrum	
RoHS	・ Standard IEC 62321 EN 50581:2012 ・ Report No. RPE20200520001 ・ Assessment Body PCBA process experiment center, ZTE Corporation

This declaration is the responsibility of the manufacturer:
 ZTE Corporation
 ZTE Plaza, Keji Road South, Hi-Tech, Industrial Park, Nanshan District, Shenzhen, Guangdong, 518057, P.R.China

Authorised person signing for the company: Yan Wende Chief Quality Officer of ZTE Corporation



Shenzhen, Jun 24th, 2020

Specification

EUT supports radios application	WCDMA Band 1, 8 LTE Band 1,3,8,28,42 HSDPA: DL Category10 (14.0Mbps) HSPA+: DL Category14 (21Mbps) HSUPA: UL Category6 (5.76Mbps) LTE TDD(DL Category 11, UL Category 5):DL: 438Mbps UL: 15Mbps LTE FDD(DL Category 11, UL Category 5): DL:600Mbps UL: 75Mbps
Maximum RF output power	WCDMA Band 1: 22.6dBm WCDMA Band 8: 24.2dBm LTE Band 1: 23dBm LTE Band 3: 22.9dBm LTE Band 8: 24dBm LTE Band 28: 23.3dBm LTE Band 42: 23.2dBm

保証とアフターサービス

保証について

- ・保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- ・無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。
<https://cdn.softbank.jp/mobile/set/common/pdf/legal/spguide/common/warranty.pdf>
- ・保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については無料修理保証の対象外となります。

注意

損害について

本製品の故障、または不具合などにより、通信などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

故障・修理について

故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合がありますので、大切な内容などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータや設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

分解・改造について

本製品を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、[お問い合わせ先](#)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- ・保証期間中は無料修理規定に基づいて修理いたします。
- ・保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。
 なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は生産打ち切り後目安として6年です。
 ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。

ご不明な点について

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたは[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

各種お手続き（My SoftBank）

待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金／データ量の確認・プラン等各種変更ができます。（個人でご契約の場合）

<https://u.softbank.jp/2HHEHkw>



カスタマーサポート

機種ごの操作やサービス内容などのお困りごと・お問合せ内容に応じて、最適な解決方法をご案内します。（個人でご契約の場合）

<https://u.softbank.jp/3i5JjAB>



ソフトバンク カスタマーサポート

検索



データ通信サポート窓口

（受付時間：平日 午前9時から午後7時まで／土日祝 午前9時から午後5時まで）

セットアップ、操作方法等についてのお問い合わせ窓口です。

ソフトバンク携帯電話から ✕ 5525（通話料無料）

一般電話から ☎ 0088-21-5525（通話料無料）

A002ZT 取扱説明書 索引

お

お知らせを確認する.....	100
お問い合わせ先.....	115

か

各部の名称とはたらき.....	8
-----------------	---

さ

サポートウェブサイトを表示する.....	106
----------------------	-----

し

仕様.....	109
---------	-----

た

端末設定.....	62
-----------	----

つ

通信を接続／切断する.....	29
-----------------	----

て

データ通信量の設定.....	31
----------------	----

と

トラブルシューティング.....	108
------------------	-----

は

はじめにお読みください.....	4
パソコンからのWEB UIの見かた.....	25

ほ

保証とアフターサービス.....	114
本機の情報を確認する.....	104
本製品の比吸収率（SAR）について.....	111

も

モバイルネットワークの設定.....	34
--------------------	----

M

Macでのドライバのインストール／アンインストール.....	18
Macへの取り付け／取り外し.....	18

S

SAR..... 111

U

USIMカードについて..... 9

W

WEB UIの概要.....22

Windowsダイヤルアップで接続する..... 15

Windowsパソコンでのドライバのインストール／アンインストール..... 13

Windowsパソコンへの取り付け／取り外し.....12

A002ZT 取扱説明書

2020年9月 第2版

ソフトバンク株式会社

※ご不明な点はお求めになった
ソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名 : A002ZT

製造元 : ZTEコーポレーション